

常総生活協同組合

脱原発と暮らし見直し委員会

12年のまとめ



2024(R6)年3月

脱原発と暮らし見直し委員会

目次

1. はじめに	1
2. 脱原発と暮らし見直し委員会 12 年の活動履歴.....	2
12 年の活動履歴から	3
3. 主な継続活動.....	10
3.1 「チェルノブイリの健康影響」の翻訳.....	10
3.2 土壌調査.....	13
3.3 自治体セシウム検査結果収集	14
3.4 DVD 貸出.....	16
4. 資料	19
5. あとがき	29

1. はじめに

常総生活協同組合の脱原発と暮らし見直し委員会は、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて、脱原発活動を中心に家族を放射能から守る、エネルギーなどの暮らしの見直し、土壌や環境の再生活動することを目的に2011年9月に発足しました。

2011年6月に理事会での承認を受け、7月に当時の村井和美理事長の元、有志の組合員が集い、準備会が立ち上がりました。その後、9月に正式発足しました。月に1回、委員が常総生協に集まり、脱原発の情報交換や脱原発活動への参加報告などを行い自らも原子力発電廃止に向けた活動が始まりました。委員会の活動は委員会報告として組合員にも配布しました。

その年の暮れから、「チェルノブイリの健康影響」英語版の翻訳に取り組むことになりました。総勢30名以上もの組合員にご協力をいただき、2012年12月に出版にこぎつけました。発行は常総生協で、製本も組合員が行いました。本文だけでなく、理解を助けるため用語解説やチェルノブイリ事故の概要、原発事故に対する常総生協の取り組みなども入れました。発足から1年後の2012年の9月には自主運営になり、委員の中から委員長や運営委員を決め、小グループに分かれてチームごとの活動も始めました。

主な継続活動は、土壌調査、自治体セシウム検査結果収集、DVD貸出です。土壌調査は、生協が行っている調査のお手伝いをしました。自治体セシウム検査結果収集は、常総生協営業範囲の自治体で検査公表している食品や土壌などに含まれる放射性物質の数値を集めました。DVD貸出は、生協が保管しているDVDを組合員に貸し出し、感想を寄せてもらう活動です。DVDの多くは大石元副理事長の提供です。

この他、講演会や学習会、上映会、見学会、会議の傍聴と参加、行政機関への申し入れ、調査や検診のお手伝い、ヨウ素剤配布、署名、デモへの参加など、生協や他団体と協働して様々な活動を行ってきました。新型コロナウイルス感染症が拡大してからは、Web会議を利用して活動してきました。

委員会の活動も12年を超えました。ここに、12年の主な活動をまとめます。

2. 脱原発と暮らし見直し委員会 12年の活動履歴

年	イベント		主な継続活動			その他
	月	生協、委員会の主催、共催、関連 行事	「チェルノブイリの健康 影響」翻訳、ミニパンフ レット	土壌調査	自治体セシウム検査結果 収集	
2011	H23	7 準備会 9 委員会発足	10月 ミニパンフレット 12月 翻訳開始			村井理事長
	2012	7 自主運営	ミニパンフレット			東海第二原発差止訴訟
		9 日本生協連エネルギー政策勉強会 12 崎山比早子講演会	11月 編集終了、出版 製本、販売			
2013	6 茨城県母親大会参加					
2014	1 児玉順一講演会 2 「福島 六ヶ所 未来への伝言」 上映会&交流会			常総生協営業範囲の自治 体のデータ収集・整理		
	2015	10 初めてのケンポ一教室		事故から5年目の調査	感想の公表	生協本報新築 生協創立40周年 柳町理事長
2016	1 崎山比早子講演会 12 東海発電所L3廃棄物学習会			6月 一部データのグラ フ公表		
	2017	1 龍ヶ浦の放射能汚染の現状学習会 6 児玉順一講演会		身近な箇所調査	DVD一覧の年2回配布 感想の公表	
2018	1 原子力オフサイトセンター、環境 放射線監視センター見学					増本理事長
	2 守田敏也講演会&ヨウ素剤配布会					
2019	7 茨城県出前講座原子力安全対策課 10 東海第二原発再稼働反対署名6市 11 町へ提出			10月 各自治体の測定終 了に伴い縮小 以降、8市のみ収集継続		
	2 放射能測定マップ読みとき講座					
2020	東海第二原発の地震動の想定につ いて勉強会					感染症対策による対 面行事の中止 Web会議の活用
	10 東海第二安全検討ワーキングに意 見書提出					
2021	12 茨城県イノシシ肉利用拡大に反対 の申し入れ					東海第二原発差止訴訟 判決
2022	6 東海第二安全検討ワーキングへの 意見書について県と協議					
2023	12 12年の活動まとめ					対面行事再開 東海第二原発差止控訴

継続活動は時期(月)の記載がないものは年度ごとの活動を記入、着色のみの箇所は直前活動を継続。

セシウム検査結果収集自治体は、牛久市、龍ヶ崎市、つくば市、守谷市、土浦市、利根町、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、鎌ヶ谷市、印西市
2019年10月以降は、牛久市、龍ヶ崎市、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、鎌ヶ谷市、印西市

JOSO ミニパンフの作成と配布




手に取りやすいA5サイズのミニパンフレットを作成しました。詳細は資料に。

①2011/11 発行 6 ページ

②2012/2 発行 6 ページ

未来は か・わ・る！

～あなたは どう過ごしていきますか～

ぼくたちこんな形で会いたく
なかつたね

ストロン君 ヨリ太郎

私たち常総生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について
学び、子供たちをどうまもるかを真剣に考えて活動しています。

このあたりはどの
くらい汚染されて
いるの？

え、ぼくたち
大丈夫なの？

え、ぼくたち
大丈夫なの？

え、ぼくたち
大丈夫なの？

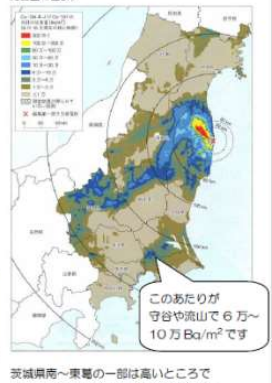
そんなことを
してるの？

常総生協のみんなで力を合
わせて調べ、勉強して手
をつくしているよ
子どもたちを放射能から
守るためにね！

最近だね、お医者さんからも
話を伺ったよ！次のページ
で紹介するわね

…… 常総生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会 2011/11/14 発行 ……

<10/6発表 文科省による汚染マップ>
 文科省がこれまでに測定してきた範囲モニタリングの測定結果について
 (文科省がこれまでに測定してきた範囲及び東京都及び神奈川県内の地表圏へのセシウム134,137の沈着量の合計)



このあたりが
守谷や流山で6万～
10万Bq/m²です

茨城県南～東葛の一部は高いところで
6万～10万Bq/m²の沈着があります。
※日本における法定の放射線管理区域は
4万Bq/m²以上

原発はすべて即停止に 段階的廃止はダメ


～2011/10/30 小川仙月さんの講演会より～

常総生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会発行
講演シリーズ2

私たち常総生協では3・11以降の
原発事故発生当初から放射能の影響
について学び、子供たちをどうまも
るかを真剣に考えて活動しています。
今回は、講演会シリーズ2「チェル
ノブイリと放射能被害 東海第2を
廃炉にする」の内容を紹介します。

小川仙月さん

1986年チェルノブイリ事故後
一市民として単身現地へ。
帰国後、各地で講演し、現地の
被害者の様子を伝え、原子力発電の危険性を訴え
続けてきました。
現在つくば市内でパリアフリー関連の仕事をして
います。東海村村議相沢さんと共に、東海第2
原発再稼働中止・廃炉を求める署名呼びかけ人。



～私の訴えたいこと～一番は「原発は即刻停止に」～

「事故はいつまたおこるか分からない」「フクシマ事故の被害は深刻」
そして「使用済み核燃料や廃棄物は行き場がない」という現実。

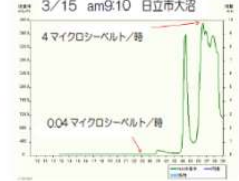
～私たちの危機～ 事故編

●茨城県民の危機① 3/15朝、大変なことが起きていた！

3/15 最初に大量の放射性物質が放出された日

午前0時 2号機ベント
午前6時 2号機から爆発音
午前6時半 枝野官商長官「2号機で破壊があったがモニタリングに急激な変化はない」と発表
午前8時 東電の記者会見一列になり神秘的な
面持ちで「申し訳ありません」

午前7時～ 茨城県日立市のモニタリング
データが平常時の100倍の上昇値を示
していた。「見たこともない数字」が、
小川氏は県庁へ「子どもたちが被ばくするの
で登校しないよう呼びかけて」と申し入れた
が教育委員会は対応してくれなかった。



3/15 am9:10 日立市大沼

4マイクロシーベルト/時

0.04マイクロシーベルト/時

1

③2012/3 発行 8 ページ

原発から、大切な「いのち」を守りたい

～東海第二原発を廃炉へ 一緒に働きかけませんか～

常総生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会発行 (2012.3.20発行)

私たち常総生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について学び、
大切な「いのち」をどう守るかを真剣に考えて活動しています。

今回は福島原発事故による影響と東海第二原発によって私たちに迫りくる危険、私たちに何ができるか
などについてご紹介します。

原発事故で普通の生活、壊されちゃったよね…

文科省による航空機モニタリングの測定
結果について
(文科省がこれまでに測定してきた範囲の地表圏への
セシウム134,137の沈着量の合計)

震災からもう1年…色々大変だったよ
ね。でも放射能は未だに止まってい
ないし、既に出てしまった放射能の影響はまだまだ
続くし…

そうそう、食べ物だって何食べていいの
か、布団や洗濯物を外干ししていいの
か、子どもを外で遊ばせていいのかわ
らぬし、とにかく気にしなきゃいけないことだらけ。

本当そうだよー！地元の農産物を食べ
るのを楽しみにしてたのに放射能を
気にしながら買うことになるなんて！！

地産地消を大事に、地元生産者の人
たちとともに支えあって暮らしてきた
のに、今じゃ何ペケルか？が大事で生
産者が一生懸命育ててくれたかなん
て吹っ飛んだよね。美味しいものい
っぱいあるのに…普通の暮らしが壊
されたって感じだよ。悔しいー！！

わたしたちも最初の3月中に相当な被ばくをしてるんだって。
水道水も汚染されてたから心配だったよね。母乳からも放射能が出ちゃうし。

千葉のお母さんは粉ミルクを作った水道水が、後から100ペケル
だとわかって、とても不安になって大変だったってよ。

1

④2012/11 発行 8 ページ

福島原発事故から 1年半で見えてきたこと

～チェルノブイリの健康影響の報告から学ぶ～

常総生活協同組合 脱原発と暮らし見直し委員会発行 (2012.11.20発行★)

私たち常総生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について学び、
大切な「いのち」をどう守るかを真剣に考えて活動しています。

今回はチェルノブイリ原発事故(1986年)から25年後の健康影響についてまとめられた英文
レポートを皆で力を合わせて翻訳しました。でも本と比較していろいろの…という疑問が。

ゴメリ市周辺(ベラルーシ)の子どもの新たに発病した疾患(母:10万人あたり) 単位:1000人

疾病グループと臓器	1985	数値	比率
癌(白血病と発生癌)	4,761	1,376	3
癌(肺)	1	151	106
肉腫(骨肉腫と軟骨肉腫、 平滑筋腫、血管肉腫)	4	3,961	107
癌(甲状腺癌)	54	1,947	21
癌(骨髄腫)	96	1,234	13
神経・神経腫	645	7,649	12
癌(骨髄腫)	32	425	13
癌(消化器)	26	5,036	228
癌(肺)	25	1,199	48
癌(皮膚及び皮下組織)	159	7,100	45
癌(筋骨格系/結合組織)	13	1,026	77
先天性畸形	51	340	7
事故と中等	2,560	4,410	2
呼吸器	700	6,239	109

「がん」だけでなく
肺炎(肺炎)が増加!
消化器は228
倍、呼吸器は109
倍

チェルノブイリの時と
状況違うよね?
放射能汚染も生活も環境も…

福島原発事故と比較して、
1年半経ってデータは揃いつつ
あるけど…

というわけで、様々な角度で福島の事故と比較して見ることができました

1

放射能によるシジミ蝶の被ばく影響の研究をされた、野原千代さんを偲んだ 冊子「野原千代さんを忘れない」パンフレットの作成と販売

2018年3月1回ニュースレターで紹介。パンフレットの詳細は資料に。

野原千代さんを忘れない。冊子「千代さんの遺言」を作りました。

是非、お手にとって読んでください!!

脱原発とくらし見直し委員会



放射能による生きものへの被曝への影響を観る研究のために、野原千代さんは沖縄から福島へと通い続けました。震災後、多くの日本人がただ自らの生活を守ることに必死でした。そんな中で、研究者として、自らの命さえも投げ打ち、シジミ蝶の調査によって被曝の影響を明らかにした千代さん。千代さんの真実を教えてくれたのは、フクシマへの想いを同じくした、牛久市在住の詩人、多喜百合子さんでした。多喜さんの詩「千代さんの遺言」を脱原発委員会で協議しながら、冊子を作りました。

野原千代さんの研究概要

野原千代さんは琉球大学の大瀧丈二研究室の一員として、福島原発事故による生物への影響の調査・研究に参加しました。

原発事故直後から汚染地域に入り、日本でよく見られるチョウの1種のヤマトシジミと幼虫の餌であるカタバミを採集。ヤマトシジミの異常や死亡率を調査し、「昆虫は放射線に強い」と言われていたチョウから異常を発見しました。チョウの次世代を育て遺伝による影響も確認しました。福島県以外の汚染が少ない地域(つくばや柏を含む)のヤマトシジミとカタバミも採集して、比較検討しました。

福島のヤマトシジミの放射線による影響は、汚染された地域で生活することから受ける外部被ばく、汚染された餌のカタバミを食べることから受ける内部被ばくが考えられます。

沖縄のヤマトシジミの幼虫に放射線を当てて沖縄のカタバミを与えて飼育すると、生存率が低下し形態異常が確認されました。放射線量が多いほど死亡や異常が多くなりました。これは外部被ばくの再現です。

沖縄のヤマトシジミの幼虫に福島のカタバミを与えて飼育したところ、生存率が低下し、形態異常が確認されました。汚染が多いカタバミほど死亡や異常が多くなりました。こちらは内部被ばくの再現です。

両方とも福島で採集したヤマトシジミの異常と同様でした。上記の実験結果は、福島のカタバミの異常は原発事故由来の放射性物質に起因することを示しています。内部被ばく実験では、放射性物質の摂取量が少ないときに死亡率や異常率が急上昇し、低線量でも悪影響をもたらすことがわかり、閾値は見られませんでした。

さらに、沖縄のヤマトシジミの幼虫に福島のカタバミを与えて飼育した次の世代に沖縄のカタバミを与えて飼育すると、生存率が改善し形態異常も減少しました。このことから内部被ばくの一部は遺伝によるものではないことがわかりました。

ヤマトシジミは、北海道を除く日本全国に分布し人の生活環境に密接して生息、捕獲や飼育も簡便で環境の指標とされています。1年に数回世代交代するため遺伝の影響も把握しやすいし、保護が必要な特定生物でもありません。原発事故時の3月は幼虫で越冬していました。

野原さんは、同じ研究室の若い人の被ばくを避けるため、自ら夫君と共に事故直後の汚染地域へ積極的に通われ、チョウやカタバミの採集を続けられました。

琉球大学の大瀧研究室では、現在もフクシマプロジェクトとして研究が続けられています。

○児玉順一先生との交流

児玉順一講演会

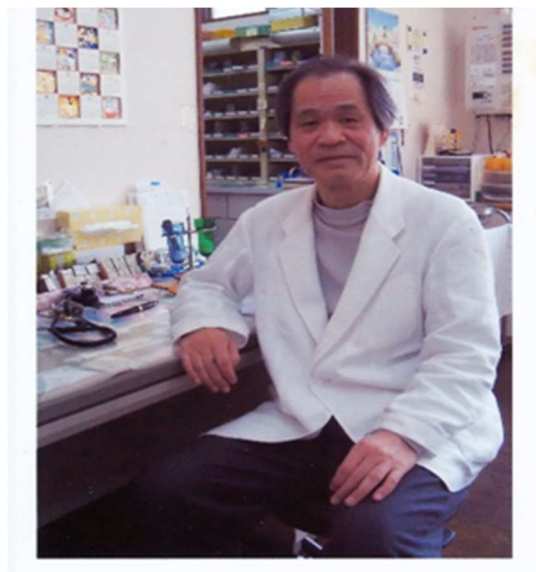
埼玉県ときがわ町の開業医、児玉順一先生の講演会を開催。

1回目(2014.1.16)は

「放射能汚染から生命と健康を守るために」

2回目(2017.6.18)は「日々の暮らしの処方箋」

福島原発事故後に内科医としての責任を果たしたいと、低線量被ばくによる実態を研究され、以下の論文を発表されました。



「A LETTER FROM JAPAN」(日本からの手紙)

広島長崎の原爆、水爆実験、それに続く核実験、そしてチェルノブイルや福島原発事故、原子力発電所からの海洋投棄を1つにまとめた放射能汚染世界地図を考案。放射能で汚染された地域での様々な病気との関連性をひも解く1冊です。癌や白血病だけではなく、自己免疫などの免疫異常が関わる疾患(1型糖尿病、潰瘍性大腸炎、関節リウマチ、ベーチェット病、クローン病、川崎病など)は低線量の放射能汚染が関係しているとして、分かりやすく解説されています。

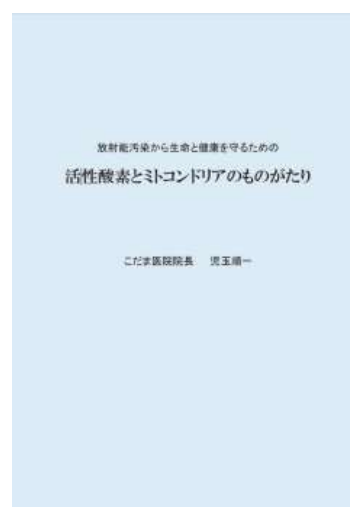
2013.12.25 発刊



「活性酸素とミトコンドリア」

細胞の歴史から始まり、私達の細胞の中にあるミトコンドリアの働きや活性酸素との関係性を探り、ミトコンドリアの働きを良くして、放射能汚染に打ち勝つ為の指針を解説。1972年カナダの原子力公社主任研究員のアブラム・ペトカウ氏の実験で、「低線量でも内部被曝はからだに害になり細胞膜が障害されてしまう。」と初めて示されたことが図を使って解説されています。(ペトカウ効果の実験)そして活性酸素についても深く掘り下げて解説されています。

2015.5.11 発刊



「レイチェル・カーソンの遺産」

レイチェル・カーソンの書籍「沈黙の春」で書かれた内容を、
児玉先生が見事に蘇らせている作品。化学汚染と放射能汚
染で傷ついた遺伝子が地球上の生き物に変化をもたらして
います。人間への影響も表面化し、私達の未来へ警鐘を鳴ら
しています。

2015.12.25 発刊



公開学習会（2014.1.16）の講演録

常総生協での児玉先生の講演会記録をまとめた1冊。

図や絵も取り入れて分かりやすく読みやすくなるようにと、
改良を重ねたフルカラーの印刷。編集の殆どを担ったのは、
脱原発と暮らし見直し委員会の一人でした。講演会時の質問
等もあり、あの漫画「美味しんぼ」の鼻血問題でも、児玉先
生の医者としての見解が書かれています。

2016.5.29 発刊

講演録以外の論文は、常総生協の職員の協力により印刷し、脱原発委員会有志で冊子作り
に取り組み完成させました。ニュースレターに掲載し、「レイチェル・カーソンの遺産」は300
円、その他は500円。児玉先生のご厚意により、売り上げの利益は、関東子ども健康調査支
援基金と委員会にすべてカンパされています。

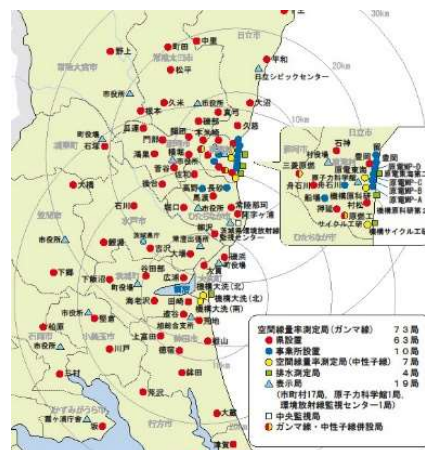
講演会終了後に児玉先生からお手紙をいただきました。2014年2月のニュースレターより

昨日はお世話になりました。講演会をもてたこと 感謝いたします。
私の知りえたことが、人々の命と健康を守ることに役立つかぎり、今後も語り続けて行きた
いと思います。放射能被曝と活性酸素の関係は、放射能とのたたかいに大きな力を与えてく
れるものであることを、ますます強く感じています。積極的に健康にむかっていく生活の基
本になりうるものであると思うのです。
残念ながら、ペトカウ効果や活性酸素や細胞膜の障害を語る人がいなくなってしまう
のが現状です。一人でも多くの人に伝えて行きたいと思っています。それだけに、先日の会
はありがたかったのです。
委員会の皆様に、それから長い時間じっと聞きいって下さった皆様にお礼のきもちを御伝え
下さい。 児玉順一

児玉先生の手紙は原文のままです。

○2018年(1月15日)茨城県原子力オフサイトセンター視察

2011年震災時に要員の参集ができず非常用発電機も20時間停止して機能しなかった茨城県のオフサイトセンターを委員会として視察し説明を受けたのち、原子力災害時に本当に機能するのかについて質疑応答を行いました。隣接する茨城県環境放射線監視センターも視察しました。



○2020年 茨城県安全性検討WTに地震想定不足について意見書提出

2020年（10月7日）、地震動の想定について委員会で勉強会を開催し、スラブ内地震について想定が不足している点について意見書をまとめ、（10月16日）常総生協および脱原発とくらし見直し委員会の連名で茨城県東海第二安全性検討ワーキングチーム（WT）に提出しました。

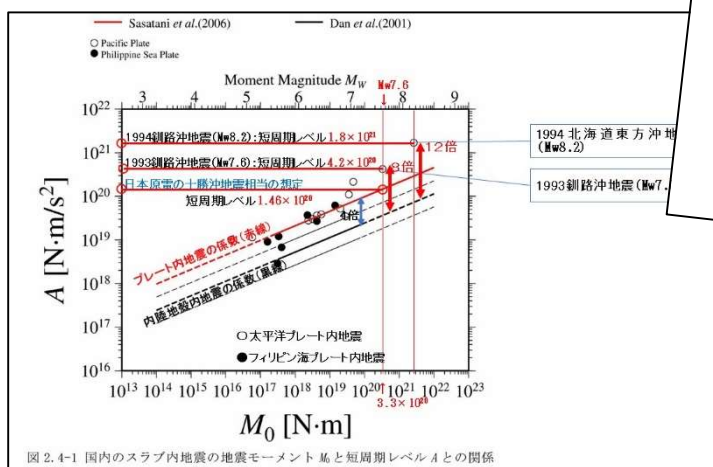
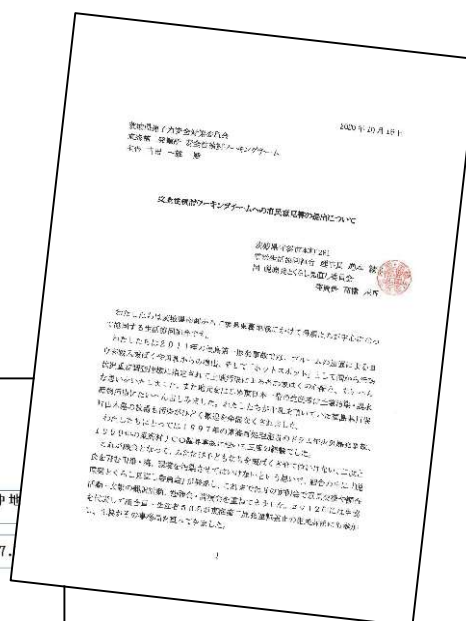


図 2.4-1 国内のスラブ内地震の地震モーメント M_0 と短周期レベル A との関係



茨城県原子力安全対策課は生協からの意見書をWT座長にも報告しておらず、第17回WT（10月21日）後の記者会見で座長は生協からの意見書について問われても答えられず、対策課が「確かに受け取っています。どう取り扱うかは今後検討します」との答弁に終わりました。

生協からの意見書に対して県からの応答がないことから、翌年2月のWT後に生協専務理事より「昨年10月提出した意見書はいつ検討されるのか」と確認したものの返答なく、再度問合せしたところ「既存の論点の審議の中で必要な説明を聴取してまいりたいと考えております」との返答でした。

しかしその後も何の返答もないことから、2022年6月に生協&委員会代表で原子力安全対策課を訪問。再度の申入れ文書を提出して説明、回答を求めました。原対課は「最初の論点に対する原電の説明が終わった段階で論点に加えるか、逐次論点に加えて説明を求めるか原対課で検討したい」との回答でした。

しかしながら、2020年に意見書提出してからまもなく4年が経過するも、意見書に対する回答、説明がないまま「放置」されている状態です。

3. 主な継続活動

3.1 「チェルノブイリの健康影響」の翻訳

核戦争防止国際医師会議ドイツ支部の「チェルノブイリの健康影響」英語版の翻訳を行い出版しました。翻訳あとがきから抜粋します。

2011年3月11日の東北沖大地震によって東京電力福島第一原子力発電所は崩壊し、人々の上に、大地に、海に、世界に放射能をまき散らしました。放射性物質の総放出量は77京ベクレルとも90京ベクレルともされ、事故の規模はチェルノブイリ原発事故と同等の「レベル7」の事故とされました。

この放射性物質は風に乗って雨となって120~200kmはなれた私たちの生活エリアである茨城県南部から千葉県東葛地区に降り注ぎました。私たちも被ばくの当事者となりました。

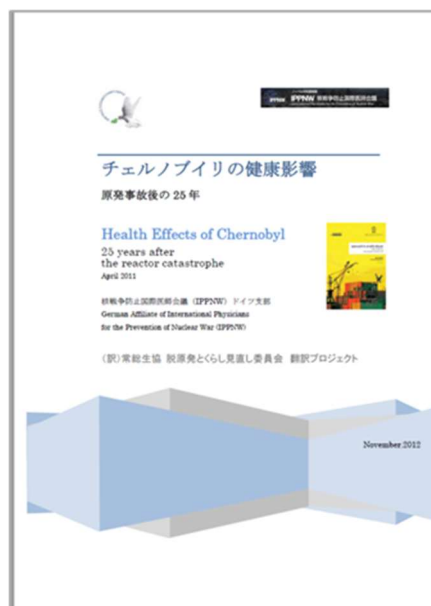
この翻訳は、茨城・千葉の生協の母親たちによって翻訳・編集・解説されたものです。

母親たちは「原発事故と被ばく」という恐ろしい歴史事件に直面し、放置されている福島の子どもたちや母親に心痛め、同じく被ばくしたわが子や地域の子どもたち・孫たちを横に心張り裂けそうになるのをこらえて、歴史の教訓を学ぼうと翻訳にかかりました。お父さんや息子さんなど、家族も応援してくれました。

きっかけとなったのは岩波の雑誌『科学』11月号に崎山比早子さんが「チェルノブイリ大惨事による健康影響の実相」と題して2つの報告書を紹介されていたことでした。

常総生協では昨年6月の総代会で「脱原発」の特別決議を皆で確認し、9月には生協の中に「脱原発・くらし見直し委員会」が発足していました。崎山さんが紹介している報告書の一つをみんなで訳しながら学ぼうということになりました。

当時、政府は事故現場にさえ立ち入ることができないまま12月16日に福島原発事故の終息を宣言し、12月22日には内閣府の低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループが「100mSv以下の被ばくは他の発がん影響に隠れるほど小さい」という報告書を発表。被ばくの実事を隠し、健康被害を過小評価する大きな流れがつくられようとしていました。



そんな状況の中で、今ここで、私たちの目の前で、かえがえのない子どもたちが被ばくしていることが何を意味し、これから何が起きようとしているのか、私たちは何をしなければならぬのか・・・先行するチェルノブイリの大惨事の悲劇の事実と教訓を学ぼうと母親たちは決心しました。

翻訳・校正から編集そして解説まで、作業は二期にわたりました。

第Ⅰ期は、まず「翻訳」作業に集中した12月末～4月末まで。第Ⅱ期は7月～10月をかけて、内容の検討にとどまらず、わかりやすい表現への修正、そして解説による補強とミニパンフ発行まで大きく展開してゆきました。

【第Ⅰ期】の翻訳作業は2011年12月26日に分担し、お正月返上で翌1月9日の「脱原発くらし見直し委員会」に初稿が持ち寄られました。正味一週間で翻訳されました。その後校正作業に時間をかけて3月には校正原稿が集まったうえで、組合員の旦那さまが校閲を引き受けて下さり、ドイツ語原本とも照合しながら細部までのチェックをして頂きました。

翻訳・校正・校閲は以下の30名のみなさんです。

(翻訳チーム) 22名 (校正チーム) 5名 (全編校閲) 1名 (監修) 2名

【第Ⅱ期】は、脱原発くらし見直し委員会2年次がスタートし、3つのチーム(翻訳チーム・くらし見直しチーム・脱原発と憲法チーム)で活動することが決まり、翻訳チームは新たに「校正と編集および解説」を手がけるチームとして発展させることで再スタートしました。

メンバーは第Ⅰ期翻訳チームから引き続き9名です。

できあがった第一次翻訳を前に、今度は読み手、特に若いお母さんの立場に立ってこの少々専門的なレポートをどのようにわかりやすくするか、どう読み取ったらいいのか、今の日本にどのように教訓として生かせるのか、さらにこの翻訳を手にしてもらうためにそのエッセンスと被ばく状況の比較をわかりやすく伝える「ミニパンフ」の作成も同時進行させることとなりました。専門用語の解説も加えました。地名の統一や、チェルノブイリと福島事故の汚染や被ばくの比較についても検討と議論を重ねて追加しました。さらに、今「わたしたちにできること」として放射能に負けない身体づくりとレシピまでつきました。

かくして、翻訳にとどまらず、日本の福島原発事故とわたしたちの身にひきつけながらも、心落ち着かせて真実と比較ができるようにという、何より母親たち自身の手で心こもった翻訳と解説の冊子、そしてミニパンフ発行となりました。

完成までの細部にわたる検討と解説をして下さった第Ⅱ期翻訳・編集メンバーから「ひとこと」を寄せて頂きました。この本を読むにあたって、メンバーの思いや台所の風景までが伝わり、身近なものに感じられることと思います。

多くの仲間のお母さん・お父さんに読んで頂き、かえがえのない「いのち」を守るために共に考え行動するためのひとつの材料となって頂けますように。

「チェルノブイリの健康影響」の翻訳本の目次 (2012年11月発刊)

目次

第Ⅰ部 この本を読むに当たって.....	1	4. 遺伝的・催奇形性損傷 (奇形)	36
1. チェルノブイリ原子力発電所事故概要.....	2	4.1 チェルノブイリ地域	37
2. チェルノブイリ原子力発電所事故によるヨーロッパの汚染地図.....	4	4.2 ドイツ.....	40
3. 用語解説集.....	6	補記：ヨーロッパにおける動物たちへのチェルノブイリ原発事故の影響.....	42
第Ⅱ部 チェルノブイリの健康影響.....	10	4.3 その他の国々.....	43
概説.....	10	5. 甲状腺がんとその他の甲状腺疾患.....	45
WHO と IAEA の信頼性を欠く公式発表に関する注記.....	14	5.1 チェルノブイリ地域.....	45
IPPNW とドイツ放射線防護協会は何を要求しているか.....	15	5.2 ドイツ.....	50
1. はじめに.....	17	5.3 その他の国々.....	50
補記：チェルノブイリ原発事故の重要データ.....	20	6. すべてのがんおよび白血病.....	52
2. 事故処理作業員.....	22	6.1 チェルノブイリ地域.....	52
2.1 放射線被ばくの結果としての早期老化現象.....	23	6.2 ドイツ.....	58
2.2 がんと白血病.....	25	6.3 その他の国々.....	59
2.3 神経系へのダメージ.....	26	7. その他の疾患.....	60
2.4 精神的障害.....	27	補記：ドイツにおける想定を越える大事故 (super-GAU) の後補.....	64
2.5 心臓と循環器系の疾患.....	29	脚注.....	65
2.6 その他の疾患.....	29	第Ⅲ部 福島原発事故から1年半で見えてきたこと.....	76
2.7 事故処理作業員の子どもたち.....	30	1. 参考資料 ～常総生協の取り組みから～.....	76
3. 乳児死亡率.....	31	(1) 本文中の表を一部グラフ化.....	76
3.1 チェルノブイリ地域.....	31	(2) 福島・チェルノブイリ 原発事故による放射能拡散の比較.....	77
3.2 ドイツ.....	32	(3) 常総生協で測定した空間線量.....	79
3.3 その他の国々.....	33	(4) 文科省航空モニタリングによるセシウム土壌沈着量地図.....	81
補記：流産と妊娠中絶.....	34	(5) 常総生協で測定したセシウム土壌沈着量.....	81
		(6) 今私たちにできること.....	86
		2. 翻訳あとがき.....	91

新聞にも紹介されました。

日 新 聞

2013年1月12日

【第1種郵便物認可】

独の「チェルノブイリの健康影響」英語版を翻訳

報告書を出版

チェルノブイリ原発事故の健康影響を分析した英語の報告書「チェルノブイリの健康影響」原発事故後の25年」を、常総生協(本部・守谷市)の組合員たちが1年がかりで翻訳し、出版にこぎ着けた。

計31人が携わり、医師を含む専門家の監修を受け、報告書の基になったドイツ語の原文にも当たってチェックを徹底したという。

本は3部構成。第1部が同原発事故の概要や専門用語解説集。第2部が

常総生協組合員ら 福島と比較も

東京電力福島第1原発事故で茨城、千葉県の土壌に沈着した放射性セシウムの独自調査結果と比較した論考を加え、食生活で免疫力を高める工夫も盛り込んだ。

チェルノブイリ原発事故は旧ソ連時代の86年4月に起きた史上最悪の事故で、現在も30キロ以内の居住が禁止されている。報告書は、核戦争防止国際医師会議ドイツ支部が11年4月に発表、月刊誌「科学」(岩波書店)同年11月号で一部が紹介された。常総生協組合員による「脱原発と暮らし見直し委員会」メンバーが翻訳作業に着手。翻訳、校正と編集に母親を中心に

報告書本体で、チェルノブイリ原発周辺地域での子供たちの甲状腺がん発症率や、それ以外に白血病などさまざまな病気にかかる割合が増えたことを詳述。事故処理作業員の疾患やドイツ南部で乳児死亡率が増加したデータも網羅した。第3部で「福島原発事故から1年半で見えてきたこと」をまとめた。

編集委員長で竜ヶ崎に住む茂田初江さんは「普通の主婦が中心となって辞書を手に訳した。原発事故では都合の悪いことを表に出さないように感じる。現実から目をそらすすべし何があったのかを知らせたい」と話して



手作りで出版した「チェルノブイリの健康影響」を手にする編集委員長の茂田初江さん(右)らメンバー。つくば市内で

石岡市、4月から市長の直轄組織。石岡市の久保田健一郎市長は11日の定例会で組織改革を行い、理事(部長級)が置かれる「市長直轄組織」を創設することを明らかにした。地域ブランド課▽企業誘致推進課▽中心市街地活性化対策課―を配下に置く。昨年の12月市議会で可決されており、部長級職員が1人増え

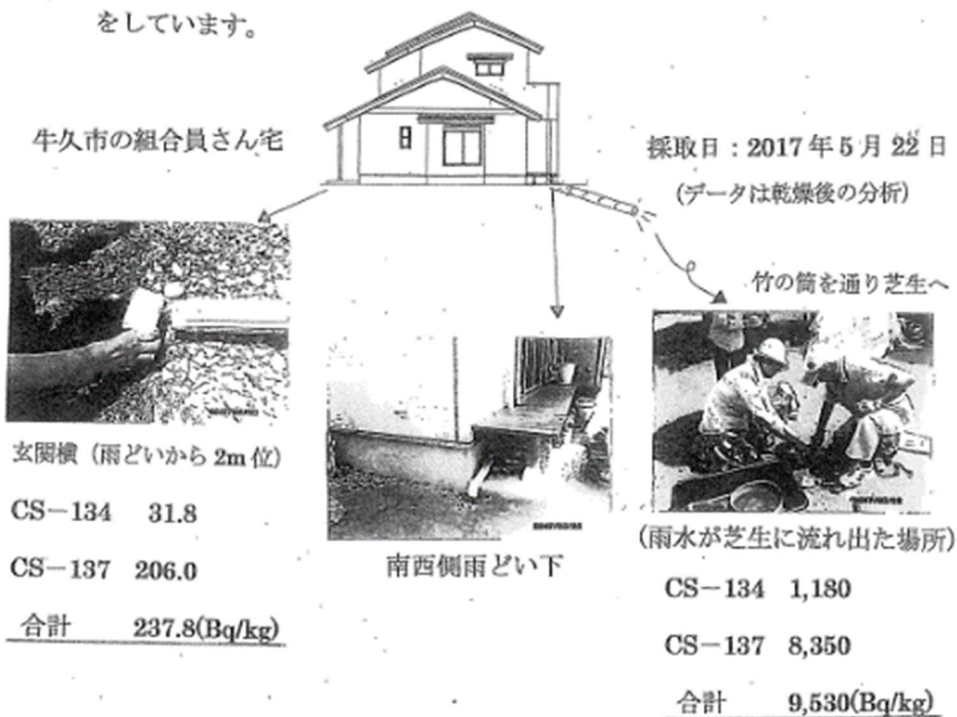
3.2 土壌調査

原発事故直後に各地で土壌調査が行われましたが、5年後の国の調査地点を自分たちで調査してみようということで、2015年から活動を始めました。調査地点の特定や調査方法など問題が発生しましたが、採取した土壌は生協の土壌調査資料に提供しました。2017年からは、身近な生活圏の土壌調査を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延などがあり2019年で終了しました。

脱原発と暮らし見直し委員会・土壌チームからの報告

福島第一原発の過酷事故から8年が経ち、また春がやって来ました。下記は、しばらく前のまとめですが、今もその傾向に変わりはありません。半減期2年のCS134は減ってきましたが、半減期30年のCS137には長い注意が必要です。時々思い出して、身の回りの除染(移染?)をしてみても如何でしょう？
又、供給便に気になる土壌(1kg)を託し、調べてみる事も出来ます。

土壌調査チームでは、家の周りの土壌を採取して放射能測定をしています。



雨どいから流れ出た水が長時間たまっていた場所は、非常に汚染度が高いことがわかりました。

3.3 自治体セシウム検査結果収集

放射性物質との12年間の報告

セシウム測定結果収集チーム

1 福島第一原発事故と放射性物質の拡散

2011年3月11日の東日本大震災による地震や津波の結果、福島第一原発で爆発事故が発生し、様々な放射性物質が排出され拡散しました。15日、21日には関東へもプルームが到来し降雨の影響もあって広く農産物を汚染しました。国は17日に原子力災害特別措置法に基づき、農林水産物の出荷制限を実施。**放射性セシウム** (Cs134+Cs137) の暫定基準値を500Bq/kgとし、2012年4月に100Bq/kgに変更しましたが、その後現在までこの数値は変わりません。

2 放射性物質測定と結果の公表（ウェブサイト）

国：当初は農林水産省その後厚生労働省が測定機関の検査結果を公表

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou>

県：茨城県、千葉県は2011年から県内産品のモニタリング検査を実施し、結果を公表

市町村：遅くとも2012年から自治体内の農産物や住民の持ち込み検査依頼品を測定し公表

現在も活動中の市民測定所：

[みんなのデータサイト](https://data.minnanods.net/) 各地の測定所のネットワーク 2013年からデータ公表、データベースを分析・公表、冊子「放射能測定マップ」も作成しました。

<https://data.minnanods.net/>

[いわき市民放射能測定室たらちね](https://tarachineiwaki.org/) ストロンチウムも測定公表しています。

<https://tarachineiwaki.org/>

3 常総生協での測定・記録

1) 生協の取り組み→生協商品や産地の土壌など測定を続けています。「常総生活協同組合 放射能検査のまとめ（仮題）」参照

2) 脱原発と暮らし見直し委員会「セシウム測定結果収集チーム」の記録

日本では食品の放射性物質汚染の実態についての直近の情報が少なく、市民は「今日、家族に何を食べさせるか」悩んでいました。当初から汚染状況に危機感を抱いていた委員会は、2014年委員会内に自治体の発表内容をチェックする「セシウム測定結果収集チーム」を結成。担当する自治体は、常総生協営業範囲の茨城6（牛久市、龍ヶ崎市、つくば市、守谷市、土浦市、利根町）、千葉6（松戸市、柏市、我孫子市、流山市、鎌ヶ谷市、印西市）を分担し、様式を統一して、ウェブサイトからデータを書き写す記録作業をスタート。2011年から2019年10月までの数値を記録しました。このときまでのデータは生協に保存してあり

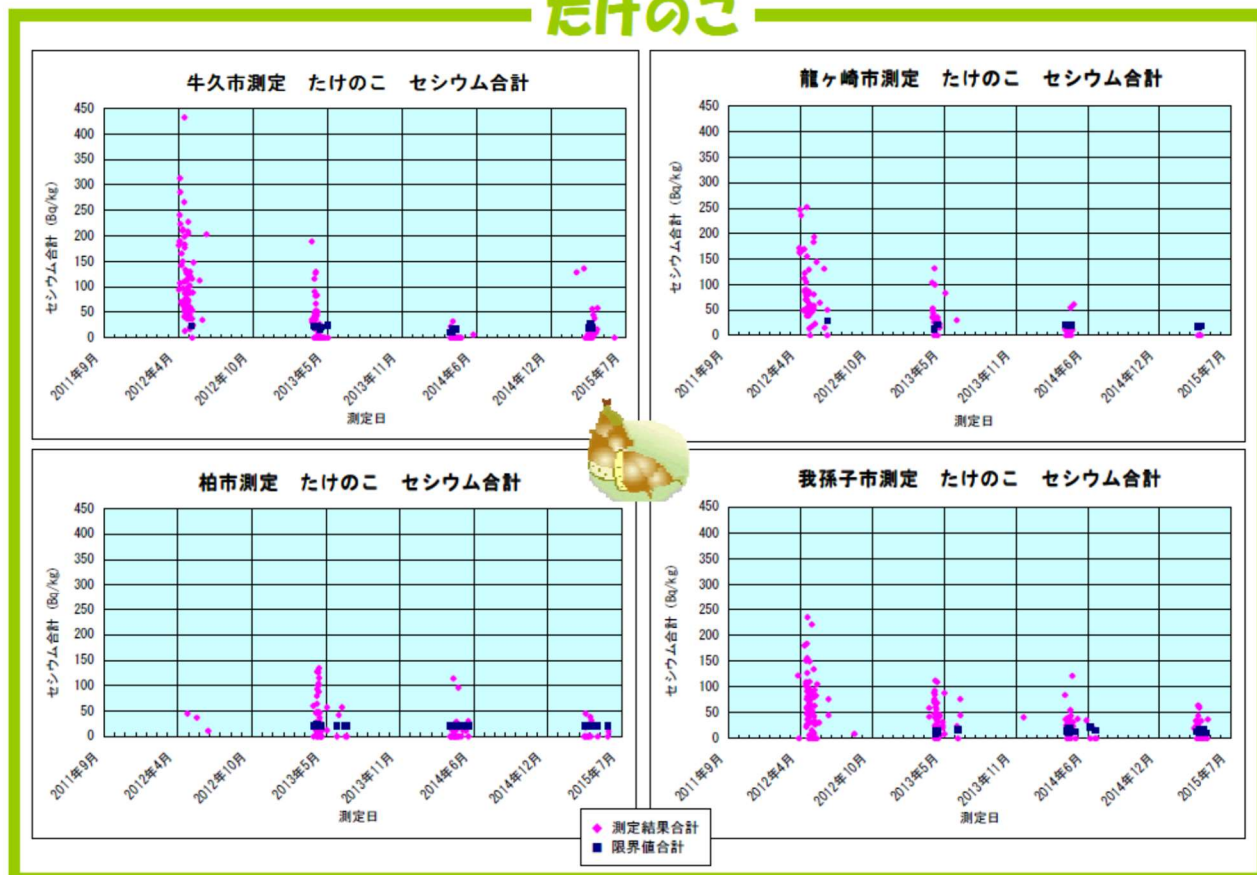
ます。この作業に携わった組合員、役員、外部の方は計 21 名。ご尽力いただいた皆様に感謝します。それ以降 2023 年までは、牛久、龍ヶ崎、我孫子、柏、印西、流山、松戸、鎌ヶ谷の 8 市のデータ収集を続けました。

毎月委員会場で自治体の発表内容を確認し、注意すべき汚染については生協のニュースレターに記事を掲載、組合員一人一人に委員会報告など印刷物を配布、生協祭りなど催事では掲示物を作成するなど組合員への情報提供を続けました。茨城県の猪肉販売の動きにも生協と委員会が申し入れをしました。

事故後数年のうちに測定・公表を終了する自治体が出始め、2022 年度末で継続方針の自治体は牛久・龍ヶ崎・我孫子・柏・印西のみようです。一方、茨城・千葉の両県と、厚生労働省、水産庁はモニタリング検査の数値をウェブサイト上に掲載し続けています。私たちのチームは 3 月末まで地元の各自治体の公表データを収集し、両県と生協への持ち込み検査のデータを加えて、12 年間のデータベースを作成しました。このデータの一覧表は 1) の生協のまとめの冊子に付録として加えてありますので、そちらをご覧ください。

特定の品目(山菜、キノコ、タケノコ、野生動物)が汚染しやすいことは周知の事実です。またセシウム 137 の半減期(半分に減る時期)は 30 年で、まだまだ汚染は続きます。これらの発表を食品選択に活かして、無用な被ばくを避ける生活を心がけていきましょう。

たけのこ



2016 年の生協祭りに収集データを掲示したグラフ

3.4 DVD 貸出

DVD の個人貸し出し「小さな上映会」

2015年に生協の新しい建物ができて、組合員室に出入りする様になると本棚に本やDVDがたくさんあり、魅力的でした。一般には手に入りにくいものが多いので、組合員に貸し出すことになりました。

この年2月、最初に坂東で組合員が集まって「小さな上映会」としてDVDを観ました。その後各地で次々と上映会が開かれました。組合員から個人への貸し出しの要望もあって、2018年5月には職員の助けを借りて個人に貸し出すシステムができました。

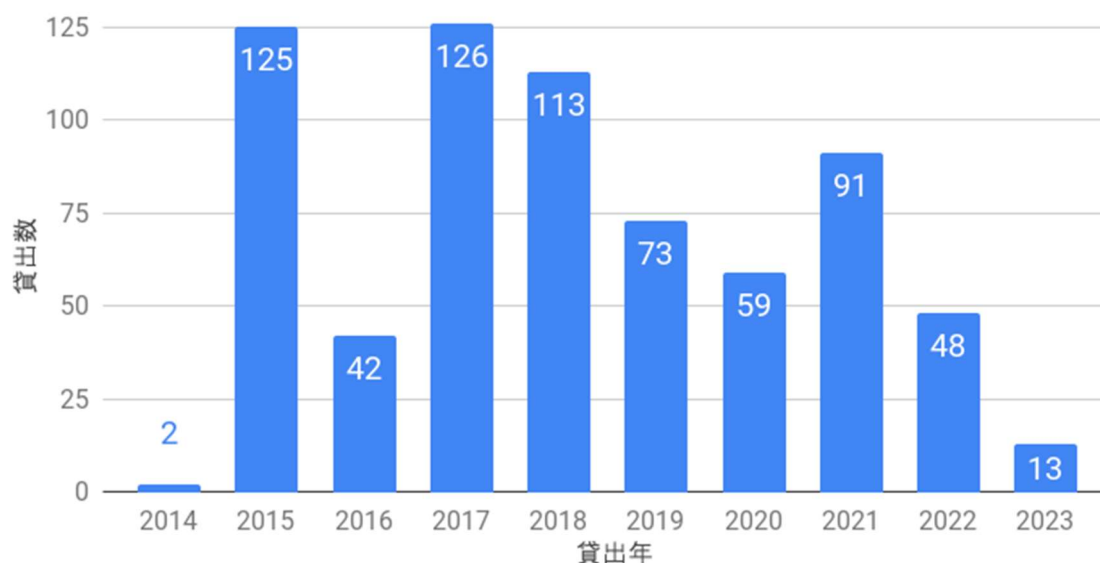
在庫のDVDの目録と借りるための手立てを説明した用紙とDVDを入れる封筒をつけて、供給便に乗せることになりました。お借りになった方々には、感想文をとお願ひしました。ほとんどの方は感想文を書いてくださって、その感想文に感動して同じDVDを観たいと思う方もありました。

DVDは委員会への寄付や、カンパで買い足して、今は80枚くらいあります。半年に1回くらいDVDの一覧表を保存用として皆様にお届けしています。また皆様の感想文も「小さな上映会便り」として年に数回ニュースレターに掲載しています。

供給便を使つての動きですので、職員の方々には大変お手数をおかけすることになり感謝しています。

元副理事長が所有していたDVDを生協に寄贈していただいたのが始まりです。現在の貸し出しDVD一覧は次ページの通りです。活動は今後も続きます。

貸出数と貸出年

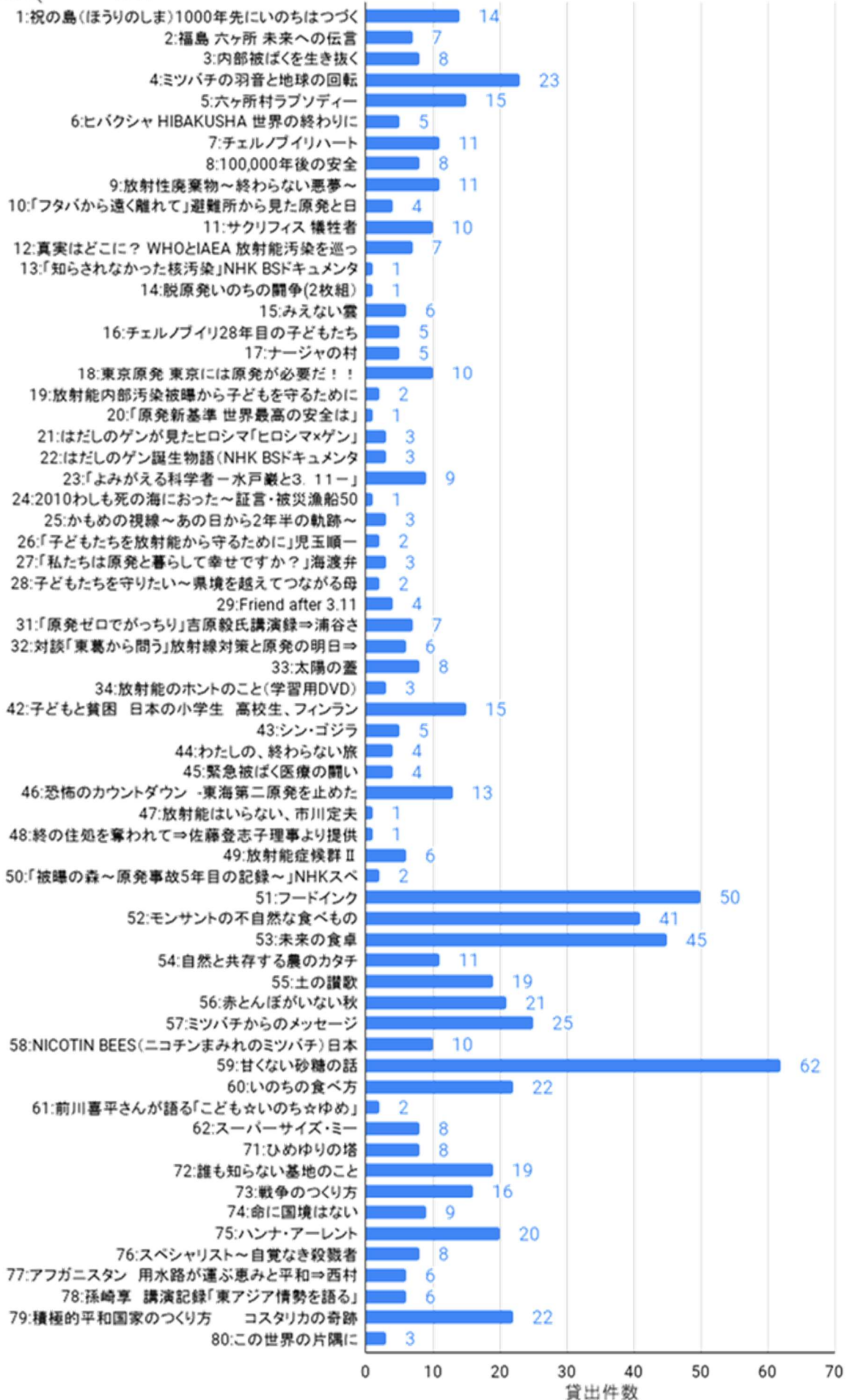


DVD 一覧と貸出数 (2014年12月～2023年12月)

No	DVD 名	制作年	時間	数	No	DVD 名	制作年	時間	数
原発・被ばく									
1	祝の島(ほうりのしま)1000年先にいのちはつづく	2010年	105分	14	42	子どもと貧困 日本の小学生高校生、フィンランドの高校生		約45分	15
2	福島 六ヶ所 未来への伝言	2012年	105分	7	43	シン・ゴジラ	2016年	119分	5
3	内部被ばくを生き抜く	2012年	80分	8	44	わたしの、終わらない旅	2014年	78分	4
4	ミツバチの羽音と地球の回転	2010年	116分	23	45	緊急被ばく医療の闘い	2019年	50分	4
5	六ヶ所村ラブソフィー	2008年	119分	15	46	恐怖のカウントダウン -東海第二原発を止めたい-	2019年改訂版	約30分	13
6	ヒバクシャ HIBAKUSHA 世界の終わりに	2003年	116分	5	47	放射能はいらない、市川定夫	2012年	58分	1
7	チェルノブイリハート	2003年	61分	11	48	終の住処を奪われて⇒佐藤登志子理事より提供いただいた	2017年	37分	1
8	100,000年後の安全	2009年	79分	8	49	放射能症候群Ⅱ	2016年	70分	6
9	放射性廃棄物～終わらない悪夢～	2009年	92分	11	食・農・環境・教育				
10	「フタバから遠く離れて」避難所から見た原発と日本社会	2012年	96分	4	50	「被曝の森～原発事故5年目の記録～」NHKスペシャル	2016年	60分	2
11	サクリフィス 犠牲者	2003年	25分	10	51	フードインク	2011年	94分	50
12	真実はどこに？ WHOとIAEA 放射能汚染を巡って	2004年	51分	7	52	モンサントの不自然な食べもの	2012年	108分	41
13	「知らされなかった核汚染」NHK BSドキュメンタリー	2006年	50分	1	53	未来の食卓	2009年	108分	45
14	脱原発いのちの闘争(2枚組)	2011年	103分 32分	1	54	自然と共存する農のかたち	2010年	12分	11
15	みえない雲	2006年	103分	6	55	土の讃歌	2012年	104分	19
16	チェルノブイリ 28年目の子どもたち	2014年	43分 +65分	5	56	赤とんぼがいない秋	2012年	61分	21
17	ナージャの村	1997年	118分	5	57	ミツバチからのメッセージ	2010年	57分	25
18	東京原発 東京には原発が必要だ！！	2002年	110分	10	58	NICOTIN BEES(ニコチンまみれのミツバチ)日本語字幕版	2009年	53分	10
20	「原発新基準 世界最高の安全は」	2013年	25分	2	59	甘くない砂糖の話	2017年	120分 15分	62
21	はだしのゲンが見たヒロシマ「ヒロシマ×ゲン」	2011年	77分	1	60	いのちの食べ方	2005年	92・10分	22
22	はだしのゲン誕生物語(NHK BSドキュメンタリー)	1995年	60分	3	61	前川喜平さんが語る「こども☆いのち☆ゆめ」	2016年	101分	2
23	よみがえる科学者-水戸巖と3.11-	2016年	60分	3	62	スーパーサイズ・ミー	2004年	98分	8
24	2010 わしも死の海におった～証言・被災漁船 50年目の真実	2010年	57分	9	戦争・平和				
25	かもめの視線～あの日から2年半の軌跡～	2013年	119分	1	71	ひめゆりの塔	1953年	127分	8
26	「子どもたちを放射能から守るために」児玉順一先生講演録	2014年	120分 超	3	72	誰も知らない基地のこと	2010年	74分	19
27	「私たちは原発と暮らして幸せですか？」海渡弁護士講演録	2015年	77分	2	73	戦争のつくり方	2010年	7分	16
28	子どもたちを守りたい～県境を越えてつながる母親たち	2016年	26分	3	74	命に国境はない	2006年	115分	9
29	Friend after 3.11	2014年	135分	2	75	ハンナ・アーレント	2012年	114分 40分	20
31	「原発ゼロでがっちり」吉原毅氏講演録⇒浦谷さん寄贈	2017年		4	76	スペシャリスト～自覚なき殺戮者	1999年	123分	8
32	対談「東葛から問う」放射線対策と原発の明日⇒佐藤理事より寄贈	2013年	150分	7	77	アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和⇒西村理事提供	2015年	30分 35分	6
33	太陽の蓋	2016年	130分	6	78	孫崎享 講演記録「東アジア情勢を語る」	2018年	約120分	6
34	放射能のホントのこと(学習用DVD)	2017年	22+35分	8	79	積極的平和国家のつくり方 コスタリカの奇跡	2016年	90分・ 57分	22
					80	この世界の片隅に	2016年	140分	3
							計		692

貸出数(DVD別)

DVD名



①未来は か・わ・る ! ~あなたは どう過ごしていきますか
~2011/11 発行

未来は か・わ・る ! ~あなたは どう過ごしていきますか~

セシ子 ウム坊 ウラ蔵 ほくたち ストロン君 ヨウ太郎
こんな形で会いたく
なかったね

私たち常総生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について
学び、子供たちをどうまもるかを真剣に考えて活動しています。

このあたりはどの
くらい汚染されて
いるの?

そうね~本当だったら
法律で管理されなきゃ
いけないくらい汚染さ
れてしまったのよ

え、ほくたち
大丈夫なの?

大丈夫になるよう
に努力しているところ
なのよ!

どんなことを
してるの?

常総生協のみんな力で合
わせて調べ、勉強して手
をつくしているのよ
子どもたちを放射能から
守るためにね!

最近ね、お医者さんからも
話を伺ったよ! 次のページ
で紹介するね

…… 常総生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会 2011/11/14 発行 ……

(1)

講演会「放射線被ばくから子供を守るために」

総合小児科医師 黒部信一氏
による被ばく予防セミナーが
10月2日(日)につくばに
て行われました。
常総生協の「脱原発とくらし
見直し委員会」の特別編集チ
ームで先生のお話をまとめて
みました。

~黒部信一先生紹介~
未来の福島子ども基金代表。
チェルノブイリ子ども基金
の顧問
慶応義塾大学医学部卒
国立埼玉病院小児科医長
吹上共立診療所所長を経て
現在堀ノ内病院小児科勤務



●ストレスは大敵

ストレスは免疫力を低下させるうえに、
被ばくによる病気発症のスイッチを
ONさせてしまいます。

●免疫力を高めること

明るくのびのび「ま、いっか」精神で
いきましょう。子どもはお母さんの
気持ちにすぐ反応します。
今現在の生活をどう過ごすかで大きく
未来は変わります。子どもと笑って楽しく過ごす時間を大切にしましょう。

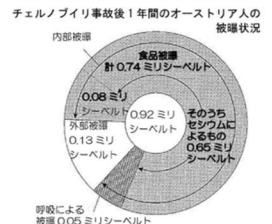


図1

●食べ物に気を付けよう

外部被ばくは2割に対し、内部被ばくは
8割というデータがあります。(図1参照)
そのほとんどが水や食べ物によるもので、
食物に気をつけたかどうかで被ばく量に
大きく影響しているようです。(図2参照)

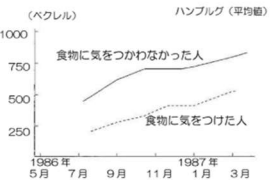


図2

※オーストリアはチェルノブイリから
約1200kmですが事故時の汚染はつくば・守谷や
柏地区同様に30k~100kBq/m²(セシウム137だけ)でした。

(『高木仁三郎著作集』より)

(2)

●被ばくによる体への影響

<全体的に病気の発症率が上がる>

チェルノブイリ事故後の主な病例と
して数値化しやすい甲状腺や白血病等
のガンがよく取り上げられますが、
実際は体調不良から機能障害に至るまで
あらゆる病気の発症率が上がりました。
但しデータ化されておらず報告に
とどまっていると聞きました。
(図3参照)

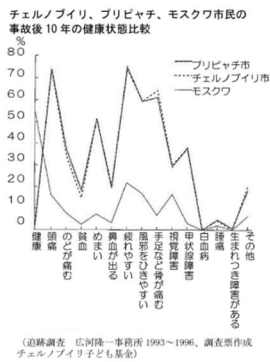


図3

<年齢によって被ばくの影響が違う>

細胞分裂が盛んな子供は平均して
大人の約10倍影響を受けやすいと
されています。
40歳を過ぎてからは影響を受けに
くいで余り神経質にならなくても
大丈夫です。(図4参照)

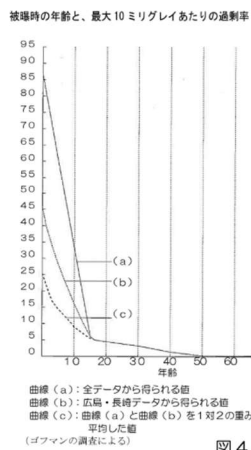


図4

(3)

●先生にお尋ねしました

Q1 鼻血・口内炎は放射線のせい?

鼻や口の粘膜は元々弱く、また低線量被ばくですぐに症状が現れることはあり
ません。
なかなか治らない、ぶつけてもいないのに体幹部に紫斑や点状の小さい出血
斑が発症することが同時におこったら念のためかかりつけ医に相談をして
ください。

Q2 食生活で気を付けることは?

放射能が測定されたもので数値の低いものを食べることをおすすめします。
肉や魚などの内臓は避けたいほうがいいです。(魚のイワは食べない)キノコ
類は濃縮されやすいので注意が必要です。
同じものばかり食べず、様々な食べ物を食べる「散らし食べ」をお勧めしま
す。

Q3 ベクテン(セシウムを排出する成分)をとると良いと聞いたがその効果は

他のミネラルも排出してしまうのでマイナス面もあります。ベクテンを多く
含む林檎などの摂取をお勧めします。(林檎は無農薬・減農薬のものを皮こ
とが一番効果的、手に入らなければよく洗う)

Q4 外で遊ぶとき気を付けることは?

帰宅後はすぐシャワーかお風呂で洗い流すことをおすすめします。
夏は日焼け止め、冬は保湿クリームなどを塗って肌への直接の付着を防ぐの
もよいでしょう。

Q5 切り傷があるけど大丈夫?

傷口から放射線を体内にとりこむことはなく、
外部被ばくと同じです。



イラスト：榎本ミサト

Q6 マスクは効果的ですか?

放射性ヨウ素は気体です。またセシウムが付着する粉じんは0.01~0.1マイ
クロという小さいものですから普通のマスクは通過します。スギ花粉は20
マイクロです。

(4)

Q7 学校や公園での放射線量が心配なのですが…

子どもの集まる所は出来るだけ除染してもらえるよう、市町村長に働きかけましょう。

Q8 室内のお掃除で気を付けることは？

ほこりがたまりやすい、空気がたまりやすいところは掃除したほうがよいです。

Q9 保養が必要ですか？

子どもは代謝が早いので約1か月保養することで体内の線量を下げる効果があります。チェルノブイリ事故後、周辺地域の学校ではクラス単位で保養を行っています。

※以上の内容等を詳しく知りたい方は先生の著書「原発・放射能 子どもが危ない」(文藝春秋発行、税抜760円)をお読みください。常総生協でも取扱っていますのでお問い合わせ下さい。



イラスト：楳木ミサト
(5)

何よりも元気な体づくり



●常総生協では放射能の影響を減らすために、いろいろな取り組みをしています。その中の一つとして発酵食品を食べて免疫力を高め、代謝を良くし放射能に負けない体を作るお手伝いをしています。

●手作りのお味噌・醤油・納豆・お漬け物・お酢・かつおぶしのおだし…
思い出してください!!
日本には素晴らしい食品があるので。
きっとあなたの体もそれらを求めていますよ!

●知っていますか…?
発酵食品を十分に摂った後のウンチはくさくさいんですよ!
さあ、あなたも今日からスッキリウンチで発酵美人!!



カタログには、このように放射能検査結果を表示しています

【放射能検査結果のカタログ上の表記について】
東北4県と関東1都府県産の産物の主原料について、毎週放射能自主検査を実施しています。主原料産地をご参照ください。
検査済みのものについてはカタログの右上で順次掲載します(最新の情報については配布時に配布されます「放射能検査」をご覧ください)。
常総生協では検査済みの放射能セーフ食品にしています。
(不検出とされたものは、検出限界値(計測器でこれ以上測れないレベル)以下であることを意味します(検出限界値も併記します)。
変更になっている場合は以下の通りです。
①検査対象地域外の原料を使用した商品
②記載がなかった商品
③記載がなかった商品
※不明な点がございましたら上記、生協までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・資料(カタログ)のご請求は下記までお願いします
常総生活協同組合
住所：茨城県守谷市本町 281
電話：050-5511-3926
FAX：0297-45-6675

わたしたちは、準備が整い次第、茨城県東海村にある東海第二原発再稼働差止・廃炉を求めて提訴いたします。ご賛同ならびに原産国への参加を頂けます皆様からのご連絡をお待ち申上げます。

(6)

②原発はすべて即停止に 段階的廃止はダメ

～2011/10/小川仙月さんの講演会より～2012/2 発行

常総生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会発行
講演シリーズ2

原発はすべて即停止に 段階的廃止はダメ

～2011/10/30 小川仙月さんの講演会より～

私たち常総生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について学び、子供たちをどうまもるかを真剣に考えて活動しています。今回は、講演会シリーズ2「チェルノブイリと放射能被害 東海第2を廃炉にする」の内容を紹介します。

小川仙月さん

1986年チェルノブイリ事故後一市民として単身現地へ。帰国後、各地で講演し、現地の被害者の様子を伝え、原子力発電の危険性を訴え続けてきました。現在つくば市内でバリアフリー関連の仕事をしています。東海村村議相沢さんと共に、東海第2原発再稼働中止・廃炉を求める署名呼びかけ人。



～私の訴えたいことの一番は「原発は即刻停止に」～

「事故はいつまたおこるかわからない」「フクシマ事故の被害は深刻」そして「使用済み核燃料や廃棄物は行き場がない」という現実。

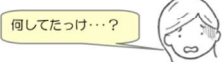
～私たちの危機～ 事故編

●茨城県民の危機①

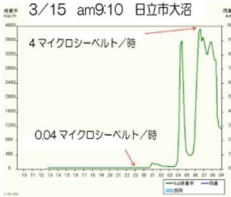
3/15朝、大変なことが起きていた!

3/15 最初に大量の放射性物質が放出された日

午前0時 2号機ベント
午前6時 2号機から爆発音
午前6時半 枝野官房長官「2号機で破損があったがモニタリングに急激な変化はない」と発表
午前8時 東電の記者会見一列になり神秘的な面持ちで「申し訳ありません」



午前7時～ 茨城県日立市のモニタリングデータが平常時の100倍の上昇値を示していた。「見たこともない数字」が。小川氏は県庁へ「子どもたちが被ばくするので登校しないよう呼びかけて」と申し入れたが教育委員会は対応してくれなかった。



1

●五重の壁のウソ～放射性物質の放出（ベント）

国や電力会社は原子炉は「5重の壁」があるから安全と言っていた。しかし実際は、原子炉が爆発しないよう炉内の圧を逃がす為の「ベント」を実施。原子炉の外にそのまま放射性物質を放出し拡散させてしまった。

チェルノブイリからミンスクまで半径300kmを日本の地図と重ね合わせて中心を東海村とすると、本州の青森から愛知まですっぽり入ってしまう。チェルノブイリと福島原発事故と東海第2原発を重ね合わせて下さい。

チェルノブイリ原発事故の高濃度の汚染地帯は300km。そして遠く離れたスウェーデンまでホットスポットとなって汚染された。

チェルノブイリ事故-欧州のセシウム汚染



同じ縮尺で日本地図を重ねる



●想定外はウソ、住民は実験台に

電力会社は以前からシビアアクシデント（重大事故）を研究。研修用の「防災用事故シナリオのための教材」にはベントからメルトスルーまでを想定した映像を作成していた。今回の事故はそのシナリオ通りであり、決して「想定外」ではない。

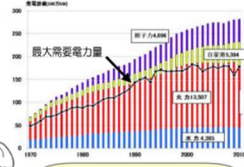


電力会社に「住民にシビアアクシデントにおけるリスクの説明を」とずっと訴えていた小浜市明通寺の住職 中島哲彦氏は3/14、「まるでシビアアクシデントの研究を実験している印象、許せない!」と。

～エネルギーは足りている～

国や電力会社が「原発が止まると停電」と言っているのは、原発を動かすために、わざと火力発電の設備稼働率を落として運用しているから。では何が目的なの？

原発に関わった企業は「お金儲け」になるから。1基で100年間は儲かると言われている。



な～んだ、原子力がなくても、水力と火力で十分まかなえるんだ!

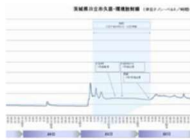
2

●福島県民の危機

3/15 原発近くの住民の多くは避難したが、雪とともにたくさんの放射性物質が降り注いだ中通りの住民はほとんど避難していない。このことは子供たちの身体の中に「時限爆弾」が埋め込まれたということ。

●茨城県民の危機② 2回目の危機

3/21 15日の爆発以降初めての雨が降った。放射性物質を含むガスが雲のような形で南下中、たまたま雨が降っていた当地に降り注いだ。



●再び茨城県民の危機③

3・11の地震で東海第2もあわやの重大事故! 外部電源が喪失し、非常用発電機も1台が故障。冷温停止できたのは3/15で4日間もかかった。

7/8 日本原電(株)は「敷地全体が1.2m移動、0.2m沈降」と報告。



※常陸新聞は6月にも、東海原発の南方の活断層について再度警告している。

●次に危ないのは東海村

核燃料・原子炉・核燃料サイクル、全部あるのは茨城県と青森県だけ。東海村で特に危ないのは

- ・日本原電(株)の「東海第2原発」
- ・日本原子力研究開発機構の「再処理工場」

所在県別	原子力施設の種類の
茨城	核燃料 原子炉 核燃料サイクル
福島	核燃料 原子炉 核燃料サイクル
福井	核燃料 原子炉 核燃料サイクル
青森	核燃料 原子炉 核燃料サイクル

たびたびの事故で付近は半減期1,600万年のヨウ素129で汚染されている。

●福島を経験し、今、引き返すとき

いつの間にか日本には54基もの原発が(右)。

今までにも、何度か引き返すチャンスがあった!

- 1989年 福島第2原発 再循環ポンプ破損
- 1991年 美浜原発 日本初緊急冷却装置による停止
- 2007年 中越地震で柏崎原発の火災(停止命令)



3

～チェルノブイリの被害者が教えてくれること～

●3年後から子供の身体に異常が

チェルノブイリ事故がおきた1986年当時のソ連(現ロシア)は秘密主義だった。しかし、人々の被害も、広大な土地の汚染も隠されなくなっていた。

チェルノブイリの被害は3年後から顕化



私は4年後の1990年にチェルノブイリの北300kmのベラルーシへ。

小児白血病棟では「日本での治療を」と母親達から子どもの名前と住所のメモを託された。数年後、「あの子達は死んだ」と聞かされた。



この時の悲しい経験から、今回のフクシマのことは黙ってられない。

●肺の写真に映った放射性物質

ベラルーシの国立大学が汚染地域の200遺体を解剖したところ、肺の内側に放射性物質(ホットパーティクル)の付着がレントゲン撮影で確認され、放射能汚染の被害として公表された(それを伝える朝日新聞 1990年7月)。

※ホットパーティクルとは放射性物質の混合体をさす。ウラン、プルトニウム、ルテチウムを含む。一人当たり数百～2万前後が検出された。2万あると確実にガンを引き起こす。



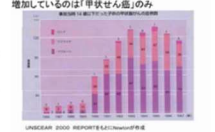
●被害を過小評価するIAEA

IAEA(国際原子力機関)という組織は、国際的に権威ある公的機関とされているが、実際は任意の原発産業の推進団体。チェルノブイリのごとき実際はたくさんの子供たちが死んでいったのに「31人しか死んでいない」と発表した。

しかし、甲状腺がんだけは異常に増えたので、IAEAも原発事故由来であると認めざるをえなくなった。

それでも他の病気や白血病などは統計上有意でないとして、原発事故との「因果関係がない」と、被ばくによる病気を認めず、チェルノブイリの人々を苦しめてきた。

IAEAが認める公式データではチェルノブイリ事故後増加しているのは「甲状腺がん」のみ



日本の水俣病でも、国や企業は10年も因果関係を認めなかったのよね。



4

日本の「水俣病」でも同じことが起きた。
今回のフクシマはチェルノブイリ事故や水俣病から学ぶべき。

●水俣病の教訓に学ぶ・・・食物連鎖

今、日本人が一番話しを聞かなければならないのは水俣病の被害者の方々の話。
水俣病研究の第一人者原田正純さんは「水俣病の構造と今の福島で起きていることがそっくりだ」と警告し、次のように言っている。

- ①原発事故は産官学の癒着の人災 ②差別のあるところに被害
- ③放射線被害は複雑 ④被害認定機関に住民を入れるべき

～私たちの危機～ 食べ物編

日本で暮らす限り、放射能が身体に入ってしまうことは避けられない。
しかし、子どものいる家庭では少しでも避ける努力を。

チェルノブイリ事故後では

「水、魚、野菜、牛乳」→「肉」→「加工食品」の順に

汚染。汚染は今年だけの話ではない。ずっと注意が必要。

特に加工食品は事故前の備蓄分がなくなり、事故後に収穫されたもの(米や小麦、豆類等)がどのように流通するのか監視しなければならない。



原発に頼らないまちづくりを

今度は私たちが「原発に頼らないまちづくりを考えることが大切」。

●東海村のこれから

東海村の村上村長は、原発立地の長で初めて国に「廃炉」を要請。村の財政は原子力による収入が3割。

村長は「東海原発をなくしても J-PARC(研究所)を村の経済活性化にできる」「海外から多くの研究者がくるが村には宿泊や文化施設がない。この不便・不満の解消が村の活性化のヒントになるはず」と。東海村は県内5番目の人口増加率で若い人も多い。



●地域の魅力を引き出すまちづくり

その地域にはどんな産業の可能性があるか。原発しかないか決めつけるのではなく、私たち市民と一緒に考えていくことが大事。

常総生協のとりのくみ

- もう二度と、子どもたち・お母さんたちを被ばくさせてはならない。もうこれ以上、放射能で田畑、川、海を汚染させてはならない。

東海第2原発を廃炉へ

- ・「東海第2原発の再稼働中止と廃炉を求める」署名集め
- ・日本原子力発電(株)へ稼働断念することを申し入れ
- ・県知事へ脱原発申し入れ、ハガキでの要請運動
- ・市民・農家・漁師を中心に地域のみなさんと東海第2原発廃炉の住民訴訟を準備中(賛同ならびに原告団への参加歓迎! ご連絡は生協まで)

- ・2/26(日) 13:30～東海第2原発を「人の鎖」で取り囲もう!
(ヒマファイト行動 バスをチャーターします。参加者募集! 生協までご連絡を!)
- ・3/20(火・祝) 13:00～広瀬隆講演会(つくば市 国際会議場)
(前売券あります。生協までご連絡を! 皆で参加しましょう!)

●食品および土壌の放射能検査

- ・2011年3月から放射能検査開始。検査結果をカタログ表示
- ・地元生産者と共に田んぼや畑の土壌をほ場単位で検査。堆肥や落葉の検査も共同で実施
- ・東北～茨城沖の魚の放射能検査を漁師さんと協力して実施
- ・2012年2月より精密に測定できるゲルマニウム半導体測定器を導入して検査体制強化

●放射能に負けない身体づくり-免疫力アップ

- ・発酵食品を食べて免疫力を高め代謝を良くし放射能に負けない身体づくりのお手伝い
- ・地区ごとに発酵食品の学習会を開催。我が家の「手作り味噌」運動実施中

●ホットスポットエリアでの被ばく状況の把握

- ・3月母乳の放射能検査を実施。全国の仲間と「母乳調査・母子支援ネットワーク」結成
- ・6月～組合員宅前1,000ヶ所の空間線量測定
- ・組合員「放射能汚染調査隊」が子どもの集まる場所や公園の空間線量の測定を実施
- ・組合員のお子さん(小中学生)100名がガラスバッチで「外部被ばく線量」計測中(1月～2月)
- ・被曝1年「家族の健康調査と生活記録」の実施を呼びかけ
- ・現在1kmメッシュで地域あげて放射能土壌沈着量調査実施中(協力者募集)



お問い合わせ・資料(カタログ)のご請求は下記までお願いします。
常総生活協同組合
住所: 茨城県守谷市本町 281
電話: 050-5511-3926
FAX: 0297-45-6675

③原発から、大切な「いのち」を守りたい

～ 東海第二原発を廃炉へ 一緒に働きかけませんか～2012/3 発行

常磐生活協同組合 脱原発くらし見直し委員会発行 (2012.3.20発行)

原発から、大切な「いのち」を守りたい

～ 東海第二原発を廃炉へ 一緒に働きかけませんか～

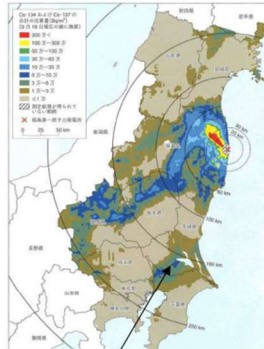
私たち常磐生協では3・11以降の原発事故発生当初から放射能の影響について学び、大切な「いのち」をどう守るかを真剣に考えて活動しています。

今回は福島原発事故による影響と東海第二原発によって私たちに迫りくる危険、私たちに何ができるかなどについてご紹介いたします。

原発事故で普通の生活、壊されちゃったよね…

文科科学省による航空機モニタリングの測定結果について

(文科科学省がこれまで測定してきた範囲の地表面へのセシウム134、137の沈着量の合計)



茨城県南～東部の一部は高いところで6万～10万Bq/m²の沈着があります。
※日本における法定の放射線管理区域は4万Bq/m²以上

震災からもう1年…色々大変だったよね。でも放射能は未だに止まってないし、既に出てしまった放射能の影響はまだまだ続くし…

そうそう、食べ物だって何食べていいのか、布団や洗濯物を外干していいのか、子どもを外で遊ばせていいのか悩む。とにかく気にしなきゃいけないことだらけ。

本当さうだよー！地元の農産物を食べるのを楽しみにしてたのに放射能を気にしながら買うことになるなんて！！

地産地消を大事に、地元の生産者の人たちとともに支えあって暮らしてきたのに。今じゃ何ペケレルか？が大事で生産者が一生懸命育ててくれたかなんて吹っ飛んじゃったよね。美味しいものいっぱいあるのに…普通の暮らしが壊されたって感じだよ。悔しい！

わたしたちも最初の3月中に相当な被ばくをしているんだって。水道水も汚染されてたから心配だったよね。母乳からも放射能が出ちゃうし。

千葉のお母さんは粉ミルクを作った水道水が、後から100ペケレルだとわかって、とても不安になって大変だったよ。

低線量ひばくって体にどんな影響があるの？

このあたりは放射線の影響が福島ほど多くないし、低線量だと健康に影響ないと言われたりもするから、やっぱり気にしすぎなのかな…

気にすべきと思うよ！実は低線量であっても健康に対するいろんな悪影響があるらしいよ。長崎・広島原爆やチェルノブイリ事故後のデータがはつきり物語っているんだって。

低線量長期被ばくの健康影響はがんだけでなく白血球や免疫力の低下、早期老化、心臓の疾患などいろいろな影響がわかってきています

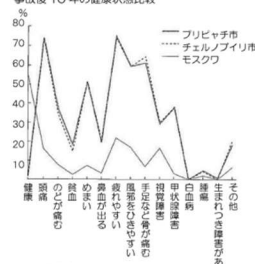
えっ？低線量だから問題ないって話はホントかしら。御用学者やメディアのせいだ？事実が知らされていないだけじゃないの？原子力発電からの利益だけ考えているんじゃないの？

「ただちに健康に影響がなくてもこれから問題。注意深い健康調査や観測による観察が必要です。」

なにしろ、低線量といえども自然の放射能の数倍もの追加の人工放射線を浴びるのは、人類としても1945年以降初めてのことです。よくわかっていないのです。

「わかっていないから安全」ではなく、わかっていないからこそ、まさに目の前で進行している体の異変を注意深く観察し検査もしなければいけません。

チェルノブイリ、プリピャチ、モスクワ市民の事故後10年の健康状態比較



(国研院健康 広河隆一事務所 1993～1996、調査報告書 チェルノブイリ子ども基金)

年間1ミリシーベルトって安心していい基準なの？

年間被ばくの追加量は1ミリシーベルト以下となってるけど、その基準は誰が決めたの？暫定基準値20ミリシーベルトもどこでどうやって決まったんだろう？

「IAEAやICRPっていわゆる”原子力があったほうが儲かる”機構”が、ゆるい基準で決めたのを国は採用してんだって。」

私たちのこと何も考えてないんじゃない？病気になっても？

そんなの冗談じゃないよ！！

本当の事を伝えるようメディアや国、自治体等に求めていかないと、病気になっちゃうよね。皆で声をあげなきゃね！



NHK「追跡！真相ファイル」低線量被ばくは誰が決めようか (2011/12/28放映)

関東にもあります…茨城県の東海村に原発が

そういえば、関東にも茨城の東海村に東海第二原発ってあるんだって。

えっ？そうなの？東京から何キロくらい？

100キロだよ～首都圏が一番近い原発だもの。水戸も含む半径30キロ圏内にはなんと106万人も住んでいるんだよ！

そんなに？でも3/11の震災のとき大丈夫だったんだよね？

■東海第二原発とは…
日本原子力発電(株)が所有する原子力発電所(GE社製、沸騰炉型)で、1978年に営業運転を開始。日本原子力発電(株)は、1957年に東京電力・関西電力と電力会社9社と、国が設立した電源開発が出身して民間主導で日本原子力発電を導入するために設立された会社。本社は東京都千代田区。東海発電所(第1)は日本最初の商業用原子炉。電気の前号は主に東京電力(8割)と東北電力、福井県敦賀市にも敦賀原発を持つ。



東海第二原発も、あつとき大変なことになっていた…

3/11の時、怪しかったみたいだよ！津波があつと数十センチ高かったら福島第一と同じ運命だったみたい。しかも防波壁が震災の2日前に完成したおかげで、あわやの事故を免れたという話もあるよ。

ふっ、2日前？なんてタイミング…(絶句)

それから、非常用電源の一部がダメで、冷却に普通約1.5日かかるころ、3.5日もかっただって。しかも敷地全体が1.2m移動、0.2m沈降したんだって。新聞でも東海原発の南方の活断層について再度警告されているよ。



東海第二原発って、とっても古いのです

しかもね、33年と老朽化した施設なんだって。国は40年とか60年は大丈夫って言ってたけど根拠はないみたい。

えーそんなに古いんだ。それでも使いたいなら、根拠なきダメだよ。

それに、3/11 震災時の冷却に時間が相当かかったのは老朽化も関係してるみたい。

そうだよ～普通に考えて金属とかコンクリートでできた施設なんだろうから、老朽化するのはいくらも。

東海第二原発って、まさか再稼働するの？

老朽化に活断層！次に大地震がきたら怪しいよね。まさか再稼働するのかな？

うーん、今は定期点検で停止しているけど、ストレステスト後の今年の6月に燃料を投入し8月に再稼働したいらしい。

え～でも福島第一原発事故の調査や事故対応の検証もまだでしょう？いまだに放射能が高くて中に入れないからよくわかっていないのに…

東海第二原発の日本原子力発電は、津波対策や電源対策をしたし、ストレステストも受けるから大丈夫、とよってよ。

はあ？そもそも福島第一原発は津波じゃなくて、地震の時に既に原子炉格納容器が破壊していたらしいよ。東海第二原発も地震による損傷は最初タービンだけって言ってたけど実は原子炉の損傷もあったと言いつつ始めているみたいなのに…

ひえ～そんなに危険なもの、なんで再稼働するの？

東京電力へ売電するためでしょう、再稼働が必要みたいだよ。

どこで再稼働の許可があるの？

国と県と東海村、その他30km圏内の自治体が了承することで再稼働OKなのよ。

でも今度東海原発で事故がおきたら、首都圏全滅かもしれないでしょ？

それは恐怖！そこまでして再稼働は必要？この1年で原子力がなくても電気は大丈夫とわかつたし、特に計画停電は原子力ないと電気止まるぞって脅しだったよね。

東海第二原発が事故！のときの避難は？(30キロ圏内の場合)

東海第二原発で重大事故が起きたら避難できるの？水戸に住んでいる私は再び家に戻れなくなるの？

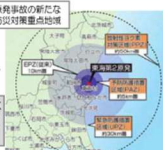
それは覚悟しておいた方がいいよ。国の防災指針によると、すぐに避難する地域は早期死亡のリスク(※)がある30km圏内となっているから。

えっ！早期死亡って即死ってこと？

うーん…国は最近どんな危険があるかを明らかにするようになったんだけど、例えば5km圏内の住民は“骨髄や肺の被ばくで数時間以内に死亡する恐れがある”って言うよ。

ぎょぎょ、恐ろしい…じゃあ、どうやって避難すればいいの？平日の昼間なら子どもは学校だし、ババは会社だし、私もパート先だし…指示はできるのかなあ？

国から今年の夏までに県や自治体等へ防災計画を立て直させて指示が出ていて、県は今やり直しているらしいよ。



※早期死亡のリスクとは48時間で50～500ミリシーベルトの被ばくを指す

原発事故の新たな防災対策の進捗状況

原発事故の新たな防災対策の進捗状況

原発事故の新たな防災対策の進捗状況

原発事故の新たな防災対策の進捗状況

でもね、茨城県では防災訓練は2009年に東海原発周辺で行ったけど、車が渋滞して大変だったみたい。最近(3月5日の県議会にて)、茨城県知事は、県内にあるすべての路線バスや通学バス7,080台を動員しても1回に2.4万人しか乗せず、106万人の一斉避難は無理！と答えています。

東海村にはたくさんの原子力施設があって、それが同時多重に事故が起きて近づけない可能性が高い。再処理工場などは原子炉よりも危ないって言われてる。避難なんてパニックになって無理だから自衛隊や米軍が出動して住民の被ばくを前提に戒厳令を敷いて30km圏内を封鎖するって話もあるよ。

しかも半径30km圏内はホットスポットを特定して避難しなさいって言うてるんだって。

えっ、どうやってホットスポットってわかるの？福島の時も時々刻々と風向きが変わってしまっただけでしょ。国で膨大な予算をつぎ込んだ拡散予測のシュミレーションソフト(SPEED1)だって活用できなかったの。

■JCOの臨界事故について小話

10年以上前にJCOで臨界事故があったよね。そのとき東海村ではどう避難したの？

あの日東海村の村長さんは、県や国などどうすればいいか相談したけど、指示系統が混乱していて時間だけが経ってゆく。村長さんは英断を下し住民を避難させたんだって。

へっ~そうなんだ。それは有難いよね。

でもその後、勝手に判断したと相当非難されたらしいよ。

えっ、なんで？

別にそんな避難するほど事故の規模は大きくなかったし、県や国からの指示も無いのに…って。

でもどうなんだろう…事故が収束して冷静な判断ができるまでは汚染状況ってわからないよね。

わかるまで待つのではなく、まずはとにかく避難が先よ！

＜ジェイシーオー(JCO)臨界事故の概要＞

1999年9月30日に、茨城県東海村に所在する住友金属鉱山の子会社の核燃料加工施設、株式会社ジェー・シー・オー(以下「JCO」)が起こした原子力事故(臨界事故)である。日本国内で初めて、事故被害による死亡者を出した。JCOの核燃料加工施設内で核燃料を加工中に、ウラン溶液が臨界状態に達し核分裂連鎖反応が発生、この状態が約20分間持続した。これにより、至近距離で中性子線を浴びた作業員3名中、2名が死亡し、1名が重傷となった。607名の被曝者を出した。国際原子力事象評価尺度(INES)でレベル4(事故所外への大きなリスクを伴わない)の事故。

東京など原発から30キロ圏外はどうするの？

ところで、私が住んでるつくば市は約70km圏だけど、どうなるんだろう？

国の防災指針では避難は30km圏内までなので、何も指示は出ないよ。

何それ、今回の福島原発事故でも0km圏外にも放射性物質を含んだガスが雲になり雨を降らせたでしょう。それで高線量の地域ができちゃったじゃない？

えっ！じゃあ、ただ被曝しちゃうこと？

残念ながら、今の国の指針ではそういうことよ。

物知りさんの情報コーナー **そもそも東海第二原発は原子炉の立地審査の指針に合っていないのです**

国の定めた「原子炉立地審査指針」と照らし合わせると、実は東海第二原発はその指針と全然合わないのです。

＜指針1＞ 地震
大きな事故の誘因となるような事象が過去になく、将来にもあるとは考えられないこと
→ ありますよ！
→ 考えられますよ！
理由は①~⑤

①東日本大震災による地震・津波による被害が東海第二原発にもありました。

②東海第二原発は新層とつながっている可能性があり、大地震による危険があります。

「北方控域新層」から「原原のすぐ北の新層(F1*)」、「舞島被験層」から「原原のすぐ南の新層(F3~F4)」の2つです。
*5年4月11日の余震で地表に出現した新層 **長さ23kmに及ぶ

③地殻のひずみのストレスが東海第二原発の沖合に蓄積しています。東日本大震災でプレートが大きく動いたけど、それが茨城沖・銚子沖のフィリピンプレート境界で止まっていると言われてます。

そういえばこの間茨城沖の地震、まだ多いよね。この間もこわかった。東海村で震動あったんかな？

2月来にも原子炉が安全・保安にも日本電産もその可能性を疑ったよ。だから地質調査をするんだって。

④関東に直下型地震の可能性は4年以内に70%と言われてます。

⑤世界で一番地震が多い日本に原発があること自体、無理があります。

＜指針2＞ 人口密集地
原子炉は十分に公衆から離れていること
原子炉の周囲は非居住区域、その外側の地帯は低人口地帯
→ 離れていません！
→ 人口密集地です！
理由は！

東海第二原発は、日本一の人口密集地。そして周辺住民が被曝する量(東海被曝線量)は世界一。東海第二原発の半径30km圏内には106万人。(半径10km圏内は福島の10倍、30km圏内は福島の2倍)そしてなんとこれも半径150km圏内に東京を含む首都圏がほぼ入り込んでしまってます。福島第一原発の約、官邸では3月25日の時点で4号機使用済み核燃料プールの破壊に続くコアコンクリートの相互貫通で半径200km以上「首都圏3千万人の避難」という最悪のシナリオを考えたそうです。「福島第一がダメになれば福島第二もダメになる。今度は東海もダメになる、という悪魔の連鎖になる。…そんなことになったら常識的に考えて東京でダメでしよう、と私は思っていた」(枝野剛彦男官 発言)

＜指針3＞ 公衆被ばくと避難
重大事故の発生を想定しても周辺の公衆に放射線障害を与えないこと
周辺を公衆に対して適切な措置を講じうる環境にあること
→ 与えます！
→ 適切な措置はできません！理由は！

福島事故では多くの住民が被ばくし、適切な措置が講じられませんでした。福島事故をうけて、ようやく国はどのような被ばく危険があるかを国民に明らかにするようになりました。シビアクシデントをものごとく分けると同時に待機後に炉心溶融がはじまるか、何時後に環境中に放射能を放出するかのシュミレーションをようやく公開しました。それによれば、早くても1時間後、遅くても11時間後には環境に放射能が放出されると想定しています。

■他にも問題が！その①「何十年と責任を負わないといけない使用済み核燃料」

核のゴミといわれる使用済み核燃料はもっていき場所がなく、とつてもない問題で、本当に大変なことなんです。原子炉の中で使用済み核燃料プールがあり、そこに貯蔵され放射線を出し続けているので、原子炉の運転を止めてもなお管理・冷却し続けなければならない、危ないのです。今回の福島原発事故の停止した4号機の使用済み核燃料プールも危なかったのです。原発を止めても、これまでに生み出してしまった核のゴミの管理でたいへんな仕事が続きます。

■他にも問題が！その②「老朽化」

東海第二原発は稼働してから33年になります。当初の寿命は30年とされていましたが、新しく作り直すには費用がかかるので延長されています。

原子炉の心臓部「圧力容器」は厚さ15.7cmの鋼鉄の筒。この容器の鋼材(母材)は、その中で核反応がおこなわれて中性子をたくさん浴びています。この鋼材は中性子を浴びると原子の間に欠陥ができてきたりして、年を重ねると割れやすくなっていく。もちろん、もろくなっていきます。だから急に冷やるとパタンとひび割れて壊れてしまうことがあるのです。そしていろんな配管を接続しているところは弱くなっています。

配管や機器は「劣化傾向を予測して計画的に取り替えています」と言っていますが、配管も中性子を浴びて腐食がすすんでいたり、溶接部などはひび割れしやすいのです。また水が溢れる腐食などは湯ができてきて取り除かれて腐食がすすんでしまうことがあります(腐蝕)。現在の安全基準は、腐食のひび割れも致命的でなければ、「健全なひび割れ」として許容されています。年数が経つとこうした劣化がいろいろあるところが増えてくるので、老朽化により設計時では思いもつかなかったことが起こる可能性があります。

人間目では見えない部分なので、いろいろテストや検査をしていますが、事故が起きる可能性が高いのです。どこかひびでも損傷があると大事故につながります。原子炉の中では核分裂反応を起こさせているので、暴走すると人間の手にも負えません。それが福島原発事故で実際に起きてしまったのです。

当たり前前に生きる権利(生存権)が侵されている！

私たちのこの先どうなるんだろう？“ただちに健康影響はない”と言われてもね。

低線量ひばくとか、食物や水による内部ひばくとか…今回の原発事故で食物も水も汚染されちゃったしね。

空気まで汚染されるなんて…今まで放射線量なんて気にする必要なかったのに。

基準値以下だから大丈夫と思えないから、心配しながら食べ物買えないし。

これはもう、健康に生きる権利を侵害してるってことよね！

生産者や流通業者も悩んでます

知り合いの農家は「こんなに丹精こめて土づくりして作物を育てていたのに一瞬で汚染されてしまった」とすごく落ち込んでる。出荷して大丈夫か、消費者が口に入れていいのかと悩んでたよ。

川や海の漁師も、漁をしても買ってもらえない状況が続いてるんだよね。

生産者には何の責任もないのにね…スーパーで売ってるのは全て検査されているのかしら？常総生協では農産物なら畑ごと出荷ごとに、水産物なら漁をした場所ごとに検査しないと出荷できないけどね。

それより何よりも、ずっと自然とともに暮らしていた農家さんや漁師さんは、自然を汚されたということが、とてもショックだったって。

いま私たちは立ち上がるべき

とにかく今のこの状況を考えてどうにかしなきゃ、って思うね。

どうすればいいんだろう？

まずは自分が住んでいる自治体の防災計画や避難方法などを確認すればいいのかな。

でも30km圏外なら指示も出ないんじゃないの？

今までの経緯からみたら、いずれにしても大きな期待はできないよね。安全説や大丈夫怖くない説で押し切られてるよ。

そうだよね~でも負けずに、自分たちの身は自分たちで守るため、学んだりして立ち上がらなければならないよね。

それに、日本原電も東海第二原発の再稼働は、住民や県、周辺市町村の合意がないとできないと言ってるんだって。だから再稼働させないよ私たちひとりひとりが声を上げることが大事だね。

常総生協は東海第二原発の運転差し止め・廃炉を求めて市民、農家、漁師さんと共に住民訴訟をおこします。ただいま原告団、賛同者を募集しています！

• 私たちは「食が命」と考えて無農薬・無添加を心がけ、生産者も消費者も一緒にすべての命の健康を第一に考えて安心の食をつくり提供してきました。

• 原発は生存権を侵していると考えます。人間、命あるものすべては原発と共存できません。

• 福島を二度と繰り返してはいけません。このことは私たち大人の責任です。

東海第二原発差し止め訴訟への

- 原告団参加、賛同支援は下記呼びかけ人まで
- 相沢一正(東海村 029-282-3619)
- 根本がん(水戸 029-253-1433)
- 坂田信一郎(龍ヶ崎 0297-66-6471)
- 常総生活協同組合(守谷市 0297-48-4911)
- 茨城平和擁護市民会議(029-221-6811)
- 憲法を生きかす会(029-233-1110)

このパンフレット及び生協についてのお問い合わせ・資料(カタログ)のご請求は下記までお願いします。

常総生活協同組合
住所: 茨城県守谷市本町 281
電話: 050-5511-3926
FAX: 0297-45-6675

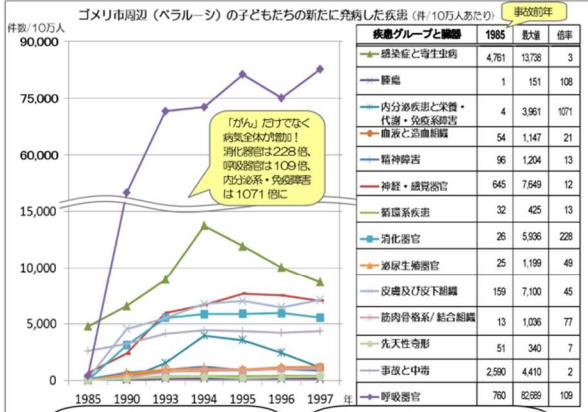
④福島原発事故から1年半で見えてきたこと ～チェルノブイリの健康影響の報告から学ぶ 2012/11 発行

常総生活協同組合 脱原発と暮らし見直し委員会発行 (2012.11.20 発行★)

福島原発事故から 1年半で見えてきたこと ～チェルノブイリの健康影響の報告から学ぶ～

私たち常総生活協では3・11以降の原発事故発生当初から放射線の影響について学び、大切な「いのち」をどう守るかを真剣に考えて活動しています。

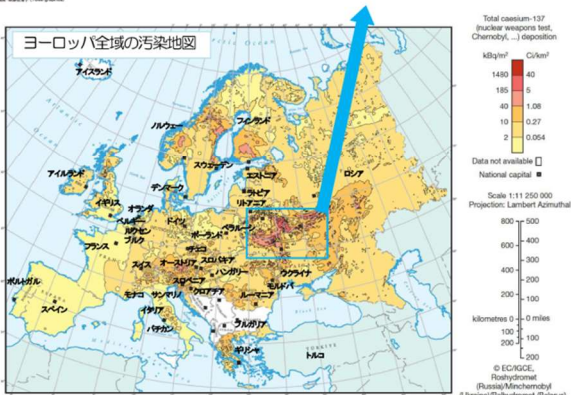
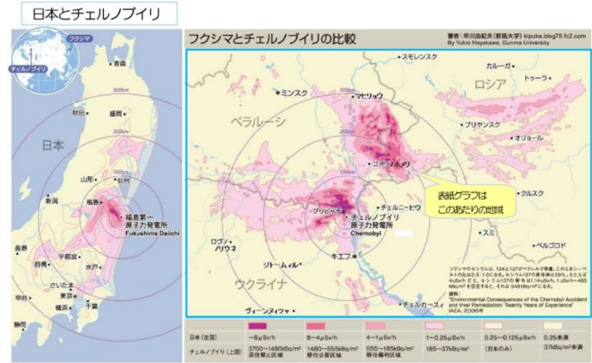
今回はチェルノブイリ原発事故(1986年)から25年後の健康影響についてまとめられた英文レポートを皆で力を合わせて翻訳しました。でも本当に比較していいのかな...という疑問が。



というわけで、様々な角度で福島の事故と比較してみることにしました

1

1. 土壌をくらべる



2

茨城県等～千葉県東葛地域における土壌汚染量及び年間外部被曝量 (常総生活協で調べ)

市町名	2011年3月時 Cs134+137土壌汚染量 (Bq/kg)			想定される年間被曝量 (μSv/年)					
	平均値	最大	最小	最高	最低	平均			
流山市	75	81,325	3,546	750,409	1.82	1.09	0.05	10.06	82.7%
阿見町	65	80,559	9,461	344,145	1.80	1.08	0.13	4.61	61.5%
松戸市	85	68,692	5,872	441,918	1.53	0.92	0.08	5.92	52.9%
柏市	130	62,922	2,885	458,980	1.41	0.84	0.04	6.15	49.2%
龍ヶ崎市	98	55,558	146	322,194	1.24	0.74	0.00	4.32	36.7%
我孫子市	58	52,080	2,590	912,851	1.16	0.76	0.03	12.23	46.6%
守谷市	50	44,707	4,015	371,072	1.00	0.60	0.05	4.97	30.0%
利根町	28	39,067	1,387	271,452	0.87	0.52	0.02	3.64	7.1%
取手市	55	36,566	982	310,441	0.82	0.49	0.01	4.16	32.7%
牛久市	71	27,919	1,188	159,626	0.62	0.37	0.02	2.14	12.7%
つくば市(中央)	136	11,358	237	154,780	0.25	0.15	0.00	2.07	3.7%

くらべて気付いたこと ～私たち主婦の目線～

- 福島原発付近の汚染度が高いところはチェルノブイリと同じくらい、でも汚染した面積はチェルノブイリの方がはるかに広い
- 茨城県南～千葉県東葛地域の比較的線量の高い地域はヨーロッパの汚染度の高い地域(北欧やオーストリアの一部)と同じくらい

どこでチェルノブイリ原発事故ってどんな事故?

- ◆概要◆1986年4月26日にソビエト連邦(現：ウクライナ)のチェルノブイリ原発4号炉が炉心溶融の事故発生。放射性降下物がウクライナ・ベラルーシ・ロシアなどを汚染した。
- ◆経緯◆4月27日から5月6日にかけて13万人あまりの住民が避難した。現在でも原発から30km以内は居住禁止となっている。
- ◆汚染◆事故から約3年後の1989年2月に初めて詳細な汚染地図が公表され、原発から300km離れた地域まで高濃度汚染地域が発生していることがわかった。

セシウム(Cs)134と137

- ◆半減期と崩壊エネルギー◆
Cs134の半減期は約2年
Cs137の半減期は約30年
Cs134の方が15倍崩壊が速く、また同じBqあたりのときの崩壊(放射)エネルギーは、2.7倍大きい。
- ◆崩壊したときのイメージ◆
Cs137は放射能が弱く、放射線量も低い。放射線量計で測定しにくい。放射線量計で測定しにくい。
- ◆チェルノブイリと福島原発事故の降下物比率◆
チェルノブイリではCs137:Cs134=1:0.55
福島ではCs137:Cs134=1:1.1で比率が違う。

経過年数と放射線量の減衰率

※チェルノブイリ原発事故に関するデータは事故発生後数年経過した時のものが多く、またCs134の比率が小さいためとんがCs137のみとなっています。当資料ではこれを補正したうえで掲載しています。

3

2. 飲食物をくらべる

食品中の放射性セシウム検査結果 (単位: Bq/kg)

注！試験未検出でもすべて表示です。0.01検出限界未満は省略しています。

	①日本 (事故後1～1.5年) 【 】は検出限界未満	チェルノブイリ周辺 ②たけのこ(事故後2年) ③りんご(事故後9年) ④穀物3国(事故後15-18年)	⑤ドイツ(事故後2年) ⑥ドイツ(事故後3年) 【 】内は平均値	⑦スウェーデン (事故後2年)
穀物	白米 0.8～11 玄米 2.9～47 パン N.D. 【<1.2～<25】	②穀物 6-23 ③りんご 1.5, 1.8 ④りんご 10, 30 ④りんご 12, 26 ④りんご 14, 32	⑤穀物 4.5-36 ⑥りんご 0-17 [3.4] りんご 0-25	穀物 3
肉	豚肉 0.5～78, 110 牛肉 4.5～150, 518 りんご N.D. 【<1～<16】	②肉 14-200 ③肉 40, 59.5 ④肉 りんご 100, 220 ④肉 42, 240 りんご 200, 400 りんご 2.1-62 りんご 25.5 りんご 3.5-23 りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	⑤肉 8-64	肉 11-33
魚	りんご 0.39-17 りんご 0.28-59 りんご 0.64-450 / りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	②魚 2.1-62 りんご 25.5 りんご 3.5-23 りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	⑥豚肉 2.4 豚肉 16.8 豚肉 37.5 豚肉 429.2 豚肉 23.2 豚肉 2.6	⑥豚肉 2.4 豚肉 16.8 豚肉 37.5 豚肉 429.2 豚肉 23.2 豚肉 2.6
野菜	小松菜 4.7～26 トウモロコシ 31.3 / じゃがいも N.D. 【<6】 じゃがいも N.D. 【<6】	②葉物野菜 10-25 野菜・果物 8-33	⑤葉物野菜 0.3-18 野菜・果物 2.6-24	葉物野菜 5-10 野菜・果物 7-20
果物	人参 0.8-11 りんごの子 260 りんご 2.1-62 りんご 25.5 りんご 3.5-23 りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	③野菜 17, 29 じゃがいも 16, 36	⑥葉物野菜 256-4900 りんご 0-2500 りんご 0.2-0.3 りんご 豆 9 りんご 0.5-0.6 りんご 1.0-5.228 りんご 0.2-0.5 [2.4] りんご 0.2-1.2	
木の実	りんご 2.1-62 りんご 25.5 りんご 3.5-23 りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	④じゃがいも りんご 6, 10 りんご 9, 13 りんご 8, 14		
加工品	りんご 2.1-62 りんご 25.5 りんご 3.5-23 りんご 7.3-35 りんご 3.5-280 りんご 0.79-570	④じゃがいも りんご 6, 10 りんご 9, 13 りんご 8, 14		
乳製品	牛乳 0.6-11 りんご N.D. 【<6】	②牛乳 4.2-90 ③乳製品 21, 82 ④牛乳 30, 80 ④牛乳 20, 110 りんご 90, 160	⑤牛乳 4.2-24 ⑥牛乳 1.1-4 牛乳 0-3.7 お茶 32.2	牛乳 6-18

＜データ出典＞

- ①2012/3/21 に発刊報告(厚生労働省「食中の放射性物質の検査結果について」第349報)より
- ②⑤⑥は2012年度検査結果(国土庁HP)より
- ③④はUNSCEAR 1988 レポートより
- ③④⑤⑥は「原子力資料情報センター」No.258より(数値左は検出値、右は検出限界)
- ④2000-2003年, UNSCEAR2008 レポートより(数値は土壌汚染レベルに換算した値は185 kBq/m² 地域、右は37-185 kBq/m² 地域)
- ⑥1989年ドイツで採集した食品「食卓に上がった放射線」(高木三郎監修)より

くらべて気付いたこと～私たち主婦の目線～

- 汚染の高い食品は比較したどの国も同じくらい
- きのこや果物など高い傾向をしめすものも同じ

【補足資料】飲食物の基準値比較 (単位: Bq/kg)

原産地	日本	ベラルーシ	ウクライナ
飲料水	10	10	2
食品	100	野菜 40-100 穀物 40 肉 180-500 魚 150	野菜 40-70 穀物 20 肉 200 魚 150 卵 6 Bq/個
牛乳	50	牛乳 100	100
乳製品	50	牛乳 50-200	100
幼児食	50	37	40

4

野原千代さんを忘れない

放射能による生きものへの被ばくの影響を観る研究のために、
野原千代さんは沖繩から福島へと通い続けた。

震災後、多くの日本人が、ただ自らの生活を守ることに必死でした。

そんな中で、研究者として、自らの命さえも投げ打ち、

シジミ蝶の調査によって被曝の影響を明らかにした千代さん。

千代さんの真実を伝えてくれたのは、

フクシマへの思いを回した、

牛久市在住の詩人多喜百合子さんです。

多喜さんの詩「千代さんの遺言」をじっくり読んでください。

常総生活協同組合 脱原発と暮らし見直し委員会



研究の概要

琉球大学大瀧研究室のヤマトシジミの生態研究は、放射能による生物への被ばくの影響を探るものである。

ヤマトシジミは世代交代が約1カ月と早いために研究目的に適っており、事故2ヶ月後という早い時期に観察が着手されたことには、極めて大きな意義があった。

チェルノブイリでは生物の研究が5年後からしかできていない。翅の大きさが、雄小化と確認。次に被曝したチヨウウを沖繩で育ててその子世代で、原発からの距離が近くなるにつれ、卵からの増化において多くの日数がかかる「成長遅延」と「形態異常率の増加」を見る。さらに子世代の異常個体を親として孫世代を作り、そこでは、類似の異常が次世代で伝達しただけでなく、これまででない(触角が二股に分かれるなど)「異常形態の出現」も観察された。また、沖繩の個体に外部被曝と福島地方のカタバミ(食草=内節被曝)を与えて、この両方の被曝において「生存率の低下」「矮小化」「形態異常」が観察された。

野原順治氏のごとは

この論文は、食による内部被曝とその後世代への影響の証明と、食の選択によりある程度内部被曝は回避できますが、隠れたポイントは県内最大の避難先である郡山、本宮など線量の高い地域を他地域と比較したこと。同市の仮設住宅に長期に亘り住まわされている行政への強い憤りです。小生も整地された同市のモニタリングポストの傍で食草を採取しましたが、年間線量は国の基準の何倍も高く出ました。そこでの作業は2-3時間でも頭が痛くなりました。その地域に住まわれている方は慣れもあり、除染されているとの話を聞きながら普通に生活していました。

因みに、日本は年間1-5mSvシシーベールは帰宅準備地域、その線量はウクライナでは移住地域です。日本では5mSvシシーベールを超えているところでは、周囲が除染されたと思われ所に設置されているモニタリングポストが示す低い線量を発表したり、同一モニタリングポイント内の複数以上のモニタリングポストが示す数字で一番低い数値を発表して帰宅準備地域にしていると思われま。政府・行政からみれば、どうせ自分の家族や親戚が居住しているわけではないので、どうでも良いのでしょね。それが何とも無責任で腹立たしいのです。

(千代さんの夫の順治氏は2011年から2014年まで研究を手伝われ、今も惜しまぬ支援を続けている)

以下は詩文の※注と参考です。

※1. 原発事故後の放射線による生物の遺伝子への影響の研究はチエルノブイリでも、5年経過後やっとならぬ。直後に影響を強く受けたものには死んでしまった可能性も高い。

よって千代さんたちの研究は世界初の早期に開始した貴重なものだといえる。千代さん亡き後、これからは脱原発シジミの遺伝子情報ゲノムの解析に仲間の研究者たちは取り組む。

※2. 被曝の影響は若い人ほど大いと言われている。また男性より女性の方が多くも知られている。

※3. 原爆ぶらぶら病 = 体力・抵抗力が弱く、疲れやすい、身体がだるいなどの症状により動作もにぶくなり、まともに働けないひとがヒロシマ、ナガサキの被爆者にたくさん出た。

参考

- (1) 大瀧研究室論文 (日本語) <http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/fukushimaproj.html>
- (2) この千代さんのグループの論文は イギリスの世界的に権威のある科学論文誌 Nature の電子版でもとりあげられた。 <http://www.nature.com/articles/srep00570>
- (3) 反響のあった海外メディア SPIEGEL (ドイツ)・BBC (イギリス)・Le Monde (フランス) ABC (アメリカ) FOX TV (アメリカ)
- (4) 2014/11/29 ジュネーブでのシンポジウムの報告書 Proceedings of the Scientific and Citizen Forum on the Genetic Effects of Ionizing Radiation このシンポジウム後のインタビュー記事を swissinfo.ch が「原発事故のチヨウウへの影響」スイスでの講演発表が大反響」と掲載 (日本語)

参考書籍

DAYS JAPAN 2014年11月号 p.30-37 「放射能汚染食物が与える次世代への影響」汚染されていない食物で回復は可能か」

参考ブログ

「院長の独り言」1330
「Wonderful World」2015/11/3 山本節子さんブログ
「ウインザー通信」2015/10/31 (おしどりマコさんのツイッター含む)

野原千代さんの足跡

- 山口県宇部市生まれ 岡山大学法学部第二部経済学科 卒業
- 1994年～2008年 愛知大学経営学部准教授 など大学で教職歴任
- 2010年 文系から理系へ転身し、社会人大学院生として琉球大学大学院理工学研究科 海洋自然科学専攻入学。大瀧丈二准教授の下、微生物を研究
- 2011年 3.11を契機に 放射能汚染の生態系に与える影響の研究へ 大瀧研究室で「フクシマプロジェクト」を立ち上げ、汚染地でのヤマトシジミ蝶の生態研究を始める。
- 5月9日には 福島県内、茨城、東京などでヤマトシジミと食草を採集
- 2012年8月9日以降、次々と研究論文を発表
- 2014年5月14日 「ヤマトシジミにおける放射性物質摂取の生物学的影響」論文発表
- 2014年11月29日 スイス ジュネーブのシンポジウムで論文を講演
- 2015年10月28日 急性心不全にて逝去

☆ 野原千代さんは「長期に亘る低線量被曝の怖しさに警鐘を鳴らすべき」と常々口にしていたそうです。この研究は、大瀧研究室において継続されており、今後10年20年と続けていかねばならない研究です。千代さんの遺したバトンを継承出来るように、研究室のホームページのフォーラムから、寄付という形で支援をすることが出来ます。
<http://w3.u-ryukyu.ac.jp/bcphunit/>

発行者 常総生活協同組合 www.coop-joso.jp

脱原発と暮らし見直し委員会

茨城県 守谷市本町281 tel/0297-48-4911

編集・デザイン アトリエ・キューブ小強佐恵子

2018年2月10日 制作

◆ 千代さんの遺言 ◆

多喜百合子

「死んでも行く、一人でも行く」と
言い続けた。
沖縄の琉球大学院生だった 千代さんが
研究室を動かした。
まるで
我が子が
フクシマに取り残されているかのように。
「ただちには 影響がでることは ない等」と
政府による 歯切れの悪い説明の続くところに
住み続けていい筈がない」と。
事故前なら
立ち入り禁止になる
高い放射線量の地域のことだ。
困が 建てた
もっと高い放射線量の地域からの
避難者用 仮設住宅まで ある地域だ。
研究は
「原発事故後のチョウへの影響」を通じ
遺伝、
食物摂取などによる内部被曝、
住み続けることによる 低線量被曝の
実態にせまるもの。
研究対象に選ばれたのは
年6回も 世代交代をする 蝶ヤマトジミ。
日本全国にいる。
地上30センチあたりに生息。
行動範囲も狭い。
蝶の一生の4分の1にあたる 幼虫時代に
食するのは
食草カタハミのみ。



まずは
外部被曝したヤマトジミの幼虫と
飼育用の新鮮なカタハミの現地採取が必須。
事故後2ヶ月には研究室がうごきました。※1
放射線量の高い所へは
若い研究者を連れて行けないから ※2
56歳の千代さんが行った。
沖縄からフクシマに10日ごとに通った。
東京在住のご主人も羽田で千代さんと合流、
ボランティアとして同行した。
毎回 3日位汚染区域に 滞在した。
動きのモタモタした蝶がたくさんいた。
ヒロシマ、ナガサキに 多く見られる
原爆ぶらぶら病みたいだとあとでわかった ※3

★
汚染区域で生き残った蝶の幼虫を
第1世代とする。
地面の放射線量に比例して
幼虫には成長遅延がみられた。
羽化しても
羽や触角が二股になるなどの
形態異常、矮小化、があった。
そのまま汚染地帯と同じ条件で飼育し続けると
その子供の第2世代にも形態異常が遺伝した。
生存率は20%以下になった。



第5世代、第7世代でその値は
最悪になった。

沖縄のヤマトジミに
人工的に フクシマと同様に被曝させ
フクシマのカタハミを与え続けると
同じ結果になった。

ところが
フクシマで外部被曝したヤマトジミでも
飼育場所を 沖縄に移し
さらに 餌を
放射能に汚染されていない
沖縄のカタハミに変えれば
第2世代の生存率は
汚染区域の20%以下から
70%以上に上がったのだ。
形態異常も消えた。

★
還暦 (60歳) 間近になって
研究者の仲間入りをした千代さん。
聴衆を前にしての発表は
いかにも頼りない話しぶり。
ええと ええとの連発。

研究室リーダーの
大瀬教授作成の論文のほうは
専門家にはすっとわかりやすい。
しかし 結論は
千代さんの方が 明確だ。
「蝶の異常がみられた区域から
早く逃げてください。」
「放射能に汚染された 食品は
食べないでください」
今からでも
被曝による命のリスクを 大きく減らせる、と。

2015年10月28日 千代さんは 亡くなった。
矢ヶ崎克馬 琉球大学名誉教授は
千代さんの遺体の前で 言った。
「野原千代さんは 彗星のごとく現れ、
4年半という短い間に
偉大な成果を 成し遂げられた」

千代さんは
自らの肉體でも
フクシマから出続ける
放射能の恐ろしさを証明したのかもしれない。
いのちを守る
大事な情報が 伏せられている。
「人間と蝶は 違う」
「人間への被曝の被害 は まだわからない、
だから 騒がない」
色々な理由をつけて
日本国内では大半の学者や メディアが
口を閉ざすことに 協力している。
国立琉球大学の大量研究室の
予算まで カットされた。



2016/3/1 発表
日本語版 詩誌『いのちの籠』
英語版 Syndic Literature Journal in USA

多喜百合子さん 詩人、東京生まれ、牛久宮在住。
世界詩人会議・世界芸術文化アカデミー永久会員、
日本現代詩人協会
文学と文化の平和会議会員、国際作家芸術家協会会員
公式サイト <http://www.takiyuriko.org>

5. あとがき

2023年12月、東日本大震災から12年が過ぎて原発事故の記憶も少しずつ薄らいできました。脱原発と暮らし見直し委員会も、原発事故直後の想いをよみがえらせ継続するためにこれまで12年の活動を振り返ってまとめを行い、次のステップへ踏み出すことになりました。

個々の活動については、各活動の代表者が要領よくまとめてくれました。さらに詳しい活動については、「チェルノブイリの健康影響」翻訳については翻訳書を、土壌調査や自治体セシウム検査結果収集については「常総生活協同組合 放射能検査のまとめ(仮題)」を参照してください。DVD貸出は今後も継続する予定です。

この12年の間に、一時はまったく動きのなかった原発推進派が、経済やエネルギーの危機に乗じて原発再稼働に向けた活動を再開してきました。私たちもこれまで以上に原子力発電所の稼働を阻止して行く必要に迫られています。委員会の新たな活動にご期待ください。

奇しくも2024年は元日に能登半島地震が発生し大きな被害がもたらされました。半島中部にある志賀(しか)原子力発電所は停止中であったため大事には至りませんでした。3mの津波が来たことや変圧器からの油漏れなどの被害状況が震災後に発覚して心配は尽きません。また、震源地に近い半島先端の珠洲市の高屋地区と寺家(じけ)地区は、かつて、北陸電力、中部電力、関西電力により珠洲原子力発電所が計画されていた場所です。住民を2分する反対運動で2003年に計画凍結となりました。今になって原発がなくて本当によかったと思いました。私たちは、強い揺れと津波による建物の倒壊や地殻変動、通信やライフラインの途絶、陸路海路空路の不通など、避難や退避したくてもできなくなる状況を目の当たりにしました。これから避難計画を立てる原発周辺の自治体は、これを機に現実を見つめ直してほしいと思います。

このまとめ文書が、常総生協と組合員はもちろん、私たちを取り巻く多くの方々の希望と参考になれば幸いです。

この冊子は、常総生協組合員と委員会の関係者を中心にお配りしています。皆さまから印刷代や用紙代などにカンパをいただけると幸いです。1口200円です。よろしく願い致します。

■販売中の書籍・パンフレット一覧

在庫限りですが、この冊子の中で紹介した下表の書籍等は現在も購入できます。ご要望の組合員は、常総生協 総務部までご連絡ください。(電話：0297-48-4911)

書籍・パンフレット名	価格(税込)	在庫数 (2024年3月末時点)
「A LETTER FROM JAPAN」(日本からの手紙)	500円	33冊
「活性酸素とミトコンドリア」	500円	12冊
「レイチェル・カーソンの遺産」	300円	24冊
児玉順一先生 公開学習会の講演録	500円	55冊
「チェルノブイリの健康影響」の翻訳本	500円	51冊
野原千代さんを忘れない	150円(5冊1組)	4組

※ミニパンフ①～④は在庫限りですが、組合員に無料配布中です。

※組合員以外で注文をご希望の場合は、以下をご覧ください。

申込み：お使いのパソコンやスマホの検索ブラウザで「rb.gy/eakazt」と直接アドレスを入力するか、QRコード(左側)を読みこんで、Google フォームに入力してください。

送料：別途1冊(または1組)毎に100円がかかります。

支払い：指定の口座へのお振り込みになります。

QRコードはこちら

↓冊子申込フォーム



チェルノブイリの健康影響の翻訳本の紹介ページもあります

カンパ ご協力をお願い

この冊子は、常総生協組合員と委員会の関係者を中心に
お配りしています。皆さまから印刷代や用紙代などにカンパをいただくと幸いです。

1口200円です(注文番号500256)。よろしくお願い致します。